



# Cisco IOS リリース 15.5(1)SY リリースノート

2023年3月21日

Catalyst 6500 シリーズ スイッチの一般的な製品情報については、<http://www.cisco.com/c/en/us/products/switches/catalyst-6500-series-switches/literature.html> を参照してください。

このマニュアルの最新バージョンは、次の Cisco.com から入手できます。

[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/ios/15-4SY/release\\_notes/release\\_notes.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/ios/15-4SY/release_notes/release_notes.html)  
リリース 15.5(1)SY4 の新機能 (54 ページ)



注意

Cisco IOS は、スーパーバイザエンジンが同一である冗長構成をサポートします。スーパーバイザエンジンが同一でない場合、片方が最初に起動されてアクティブになり、もう一方がリセット状態で保留されます。

## 目次

このマニュアルの内容は、次のとおりです。

- リリースの時系列リスト (3 ページ)
- サポート対象ハードウェア (3 ページ)
- サポートされていないハードウェア (49 ページ)
- イメージとフィーチャセット (51 ページ)
- EFSU の互換性 (51 ページ)
- Cisco IOS の動作の変更 (51 ページ)
- リリース 15.5(1)SY11 の新機能 (52 ページ)
- リリース 15.5(1)SY10 の新機能 (52 ページ)
- リリース 15.5(1)SY9 の新機能 (52 ページ)
- リリース 15.5(1)SY8 の新機能 (53 ページ)
- リリース 15.5(1)SY7 の新機能 (53 ページ)
- リリース 15.5(1)SY6 の新機能 (53 ページ)



Americas Headquarters:  
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA?

- リリース 15.5(1)SY5 の新機能 (54 ページ)
- リリース 15.5(1)SY4 の新機能 (54 ページ)
- リリース 15.5(1)SY3 の新機能 (55 ページ)
- リリース 15.5(1)SY2 の新機能 (55 ページ)
- リリース 15.5(1)SY1 の新機能 (56 ページ)
- リリース 15.5(1)SY の新機能 (56 ページ)
- サポートされていない機能 (57 ページ)
- リリース 15.5(1)SY11 の制約事項 (57 ページ)
- リリース 15.5(1)SY10 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY9 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY8 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY7 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY6 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY5 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY4 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY3 の制約事項 (58 ページ)
- リリース 15.5(1)SY2 の制約事項 (59 ページ)
- リリース 15.5(1)SY1 の制約事項 (59 ページ)
- リリース 15.5(1)SY の制約事項 (60 ページ)
- リリース 15.5(1)SY11 の不具合 (61 ページ)
- リリース 15.5(1)SY10 の不具合 (61 ページ)
- リリース 15.5(1)SY9 の不具合 (62 ページ)
- リリース 15.5(1)SY8 の不具合 (62 ページ)
- リリース 15.5(1)SY7 の不具合 (63 ページ)
- リリース 15.5(1)SY6 の不具合 (64 ページ)
- リリース 15.5(1)SY5 の不具合 (64 ページ)
- リリース 15.5(1)SY4 の不具合 (65 ページ)
- リリース 15.5(1)SY3 の不具合 (67 ページ)
- リリース 15.5(1)SY2 の不具合 (69 ページ)
- リリース 15.5(1)SY1 の不具合 (71 ページ)
- リリース 15.5(1)SY の不具合 (72 ページ)
- トラブルシューティング (73 ページ)

## リリースの時系列リスト

延期されているリリースについては、「[イメージとフィチャセット](#)」セクション(51 ページ)を参照してください。

次に、15.5SY リリースの時系列のリストを示します。

- リリース 15.5(1)SY11:2023 年 3 月 21 日
- リリース 15.5(1)SY10:2022 年 9 月 17 日
- リリース 15.5(1)SY9:2022 年 3 月 17 日
- リリース 15.5(1)SY8:2021 年 9 月 16 日
- リリース 15.5(1)SY7:2021 年 3 月 18 日
- リリース 15.5(1)SY6:2020 年 9 月 18 日
- リリース 15.5(1)SY5:2020 年 3 月 18 日
- リリース 15.5(1)SY4:2019 年 9 月 12 日
- リリース 15.5(1)SY3:2019 年 3 月 27 日
- リリース 15.5(1)SY2:2018 年 9 月 17 日
- リリース 15.5(1)SY1:2018 年 3 月 8 日
- リリース 15.5(1)SY:2017 年 5 月 22 日

## サポート対象ハードウェア

ここでは、リリース 15.5(1)SY 以降のリリースでサポートされているハードウェアについて説明します。

- [スーパーバイザエンジン、PFC、DFC、および CFC \(4 ページ\)](#)
- [40 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール \(9 ページ\)](#)
- [10 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール \(12 ページ\)](#)
- [Cisco Catalyst 6880-X シリーズ拡張可能な固定型アグリゲーション スイッチ \(20 ページ\)](#)
- [Cisco Catalyst 6840-X シリーズ固定型アグリゲーションスイッチ \(20 ページ\)](#)
- [Cisco Catalyst 6840-X シリーズ固定型アグリゲーションスイッチ \(20 ページ\) \(21 ページ\)](#)
- [Catalyst 6840-X スイッチの IA クライアント最大値 \(24 ページ\)](#)
- [10/100/1000 イーサネット スイッチング モジュール \(27 ページ\)](#)
- [Power over Ethernet ドーターカード \(31 ページ\)](#)
- [トランシーバ \(31 ページ\)](#)
- [サービスモジュール \(43 ページ\)](#)
- [シャーシ \(45 ページ\)](#)



(注) **show power** コマンドを実行して、現在のシステム電力使用量を表示します。

## スーパーバイザエンジン、PFC、DFC、および CFC

- [Supervisor Engine 6T \(4 ページ\)](#)
- [Supervisor Engine 2T-10GE \(5 ページ\)](#)
- [サポートされるポリシーフィーチャカード \(6 ページ\)](#)
- [サポートされる分散型フォワーディングカード \(8 ページ\)](#)
- [集中型フォワーディングカード \(WS-F6700-CFC\) \(9 ページ\)](#)

### Supervisor Engine 6T

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>C6800-SUP6T</b>	PFC4 搭載 Supervisor Engine 6T	15.3(1)SY
<b>C6800-SUP6T-XL</b>	PFC4XL 搭載 Supervisor Engine 6T	

#### 機能

- 以下のポリシーフィーチャカードのいずれか:
  - ポリシーフィーチャカード 4XL (PFC4XL)
  - ポリシーフィーチャカード 4 (PFC4)  
次を参照してください。付録「サポートされるポリシーフィーチャカード」
- 最大 6-Tbps のスイッチファブリック接続をサポートします。
- XL と非 XL 両方のスーパーバイザの 4 GB DDR3。
- 内部 4 GB eUSB (bootdisk:)
- 1 個の外部 USB タイプ A スロット (disk0:)
- 管理ポート。以下の両方をサポートしています。
  - RJ45
  - 次のトランシーバをサポートする SFP。
    - GLC-SX-MM
    - GLC-LH-SM
    - GLC-ZX-SM
    - GLC-SX-MMD
    - GLC-LH-SMD
    - GLC-EX-SMD
    - GLC-ZX-SMD
    - GLC-BX-U
    - GLC-BX-D
- コンソールポートは、次のバリエーションをサポートします。
  - RJ45 シリアル
  - USB ポートタイプ B

- 前面パネルのスーパーバイザ アップリンク ポート:  
1Gb/10Gb Small Form Factor Pluggable Plus (SFP+) ポート X 8 (ポート番号は TenG 1 ~ 8)  
40 Gb QSFP ポート X 2 (ポート番号は FortyG 9 ~ 10)
- スーパーバイザのスロットを次のように使用します。
  - 7 スロット 6807-XL シャーシ - スロット 3 および 4 (15.3(1)SY 以降)
- NVRAM: 4 MB
- 消費電力
  - 標準: 最大 341 W
  - XL: 最大 354 W
- 送受信キュー
  - デフォルト: 1p7q4t
  - 設定可能: 2p6q4t
- 詳細については、次のマニュアルを参照してください。  
<http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/catalyst-6800-series-supervisor-engine-6t/datasheet-c78-736408.html>

## Supervisor Engine 2T-10GE

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>VS-S2T-10G-XL</b>	PFC4XL 搭載 Supervisor Engine 2T-10GE	15.0(1)SY
<b>VS-S2T-10G</b>	PFC4 搭載 Supervisor Engine 2T-10GE	

### 機能

- 以下のポリシーフィーチャカードのいずれか:
  - ポリシーフィーチャカード 4XL (PFC4XL)
  - ポリシーフィーチャカード 4 (PFC4)

「サポートされるポリシーフィーチャカード」セクション(6 ページ)を参照してください。
- 2-Tbps スイッチファブリック接続をサポートします。
- 2 GB DRAM。
- 内部 1 GB ブートフラッシュ (**bootdisk:**)。
- 1 つの外部スロット:
  - **disk0:**
    - Supervisor Engine 2T-10GE で使用する、米国シスコで販売されている CompactFlash Type II フラッシュ PC カード用。
- コンソール ポート:
  - EIA/TIA-232 (RS-232) ポート
  - USB ポート

- ポート 1、2、および 3:
  - QoS アーキテクチャ: **2q4t/1p3q4t**
  - ポート 1、2、および 3: ギガビットイーサネット SFP (ファイバ SFP または 1000 Mbps RJ-45 SFP)
- ポート 4 および 5:
  - 10 ギガビットイーサネット **X2** トランシーバをサポート
  - QoS アーキテクチャ:
    - ポート 1、2、および 3 が有効な場合: **2q4t/1p3q4t**
    - ポート 1、2、および 3 が無効な場合: **8q4t/1p7q4t**
- 1 ポートグループ: ポート 1 ~ 5



(注) 10/100/1000 Mbps RJ-45 ポートの詳細については、『[Supervisor Engine 2T-10GE Connectivity Management Processor Configuration Guide](#)』を参照してください。

- 接続管理プロセッサ (CMP)。以下のマニュアルを参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/cmp\\_configuration/guide/sup2T\\_10GEcmp.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/cmp_configuration/guide/sup2T_10GEcmp.html)

#### Supervisor Engine 2T-10GE の制限事項

- **platform qos 10g-only** グローバル コンフィギュレーション コマンドで 1 ギガビットイーサネット ポートをディセーブルにした場合を除き、1 ギガビットイーサネット ポートと 10 ギガビットイーサネット ポートの QoS ポートアーキテクチャ (**2q4t/1p3q4t**) は同じです。1 ギガビットイーサネット ポートをディセーブルにした場合、10 ギガビットイーサネット ポートの QoS ポートアーキテクチャは **8q4t/1p7q4t** です。
- RPR 冗長モードでは、スタンバイモードの Supervisor Engine 2T-10GE 上のポートはディセーブルです。

## サポートされるポリシーフィーチャカード

- [ポリシーフィーチャカード 4 のガイドラインと制限事項 \(6 ページ\)](#)
- [ポリシーフィーチャカード 4XL \(8 ページ\)](#)
- [ポリシーフィーチャカード 4 \(8 ページ\)](#)

### ポリシーフィーチャカード 4 のガイドラインと制限事項

- PFC4 は、118,000 個 (115.2K) の MAC アドレスを推奨最大値として、MAC アドレスの理論上の最大値 131,072 個 (128K) をサポートします。
- PFC4 は、ハードウェアの FIB テーブルをパーティションに分割して、IPv4 ユニキャスト、IPv4 マルチキャスト、MPLS、および IPv6 ユニキャストとマルチキャストトラフィックをハードウェアでルーティングします。ハードウェア FIB テーブルにエントリがないルートのトラフィックは、ソフトウェアのルートプロセッサによって処理されます。

XL モードのデフォルトは次のとおりです。

- IPv4 ユニキャストおよび MPLS: 512,000 ルート
- IPv4 マルチキャストおよび IPv6 ユニキャストとマルチキャスト: 256,000 ルート

非 XL モードのデフォルトは次のとおりです。

- IPv4 ユニキャストおよび MPLS: 192,000 ルート
- IPv4 マルチキャストおよび IPv6 ユニキャストとマルチキャスト: 32,000 ルート



(注) グローバルインターネットルーティングテーブルとローカルルート(存在する場合)のサイズは、非 XL モードのデフォルトのパーティションサイズを超えることがあります。

次に、サポートされるプロトコルの理論上の最大ルート数を示します(最大値は同時にはサポートされません)。

- **XL モード:**
  - IPv4 および MPLS: 最大 1,007,000 ルート
  - IPv4 マルチキャストおよび IPv6 ユニキャストとマルチキャスト: 最大 503,000 ルート
- **非 XL モード:**
  - IPv4 および MPLS: 最大 239,000 ルート
  - IPv4 マルチキャスト、IPv6 ユニキャストおよびマルチキャスト: 最大 119,000 ルート

**platform cef maximum-routes** コマンドを実行して、ハードウェア FIB テーブルを再パーティション化します。IPv4 ユニキャストおよび MPLS には、ルートごとに 1 つのハードウェア FIB テーブルエントリが必要です。IPv4 マルチキャスト、IPv6 ユニキャスト、およびマルチキャストには、ルートごとに 2 つのハードウェア FIB テーブルエントリが必要です。1 つのプロトコルのパーティションを変更すると、他のプロトコルのパーティションで対応する変更が行われます。**reload** コマンドを実行して、**platform cef maximum-route** コマンドで行った構成の変更を有効にします。



(注) 非 XL モードシステムでは、ハードウェア FIB テーブルを再パーティション化しても要件を満たすことができない場合は、必要に応じてコンポーネントをアップグレードし、XL モードで動作させます。

- 冗長性を確保するために、一方のスーパーバイザエンジンで 1 つのタイプの PFC を実行し、もう一方のスーパーバイザエンジンで別のタイプの PFC を実行することはできません。同一のポリシーフィードチャカードを使用する必要があります。
- PFC4: PFC4 と DFC を使用した構成には、次の制限が適用されます。
  - PFC4 と DFC4: 制限はありません(PFC4 モード)。
  - PFC4 と DFC4XL: PFC4 によって DFC4XL の機能が制限されます。DFC4XL は DFC4 (PFC4 モード)として機能します。
- PFC4XL: PFC4XL と DFC を使用した構成には、次の制限が適用されます。
  - PFC4XL と DFC4: DFC4 によって PFC4XL の機能が制限されます。リロード後、DFC4 を搭載したモジュールを設置した状態で、PFC4XL は PFC4 (PFC4 モード)として機能します。
  - PFC4XL と DFC4XL: 制限はありません(PFC4 モード)。
- ブートアップ後に設置し、現在の PFC モードよりも制限された PFC モードが強制される DFC が搭載されているスイッチングモジュールでは、電源がオフのままになります。
- 現在の PFC モードよりもより制限された PFC モードが強制される DFC を搭載したスイッチングモジュールを使用するには、リポートする必要があります。

- PFC モードを表示するには、**show platform hardware pfc mode** コマンドを実行します。
- TCAM 使用率が合計使用率の 80% を超えているルートのチャーンが発生した場合に、FIB TCAM 例外がスローされることがあります。この制限は、XL ラインカード上の DFC TCAM に適用されます。IPv4 または IPv6 あるいは MPLS トラフィックの中継ルートに対して FIB TCAM 例外がスローされた場合、ルートは FIB にインストールされず、接続が影響を受けます。これにより、ソフトウェアのスイッチングによって CPU 使用率が上昇する場合があります。

### ポリシーフィーチャカード 4XL

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
VS-F6K-PFC4XL	ポリシーフィーチャカード 4XL (PFC4XL)	
	注 VS-F6K-PFC4XL= を使用して PFC4XL にアップグレードします。	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

### ポリシーフィーチャカード 4

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
VS-F6K-PFC4	ポリシーフィーチャカード 4 (PFC4)	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

### サポートされる分散型フォワーディングカード

- [分散型フォワーディングカード 4XL \(9 ページ\)](#)
- [分散型フォワーディングカード 4 \(9 ページ\)](#)



注

- ポリシーフィーチャカード (PFC) および分散型フォワーディングカード (DFC) の制限については、「[サポートされるポリシーフィーチャカード](#)」セクション (6 ページ) を参照してください。
- DFC4 はスイッチングモジュールに搭載されているメモリを使用します。
- DFC の詳細については、次のマニュアルを参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config\\_Notes/OL\\_24918.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config_Notes/OL_24918.html)  
[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/catalyst-6500-series-Supervisor-engine-2t/data\\_sheet\\_c78-648214.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/catalyst-6500-series-Supervisor-engine-2t/data_sheet_c78-648214.html)

## 分散型フォワーディングカード 4XL

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-F6K-DFC4-EXL WS-F6K-DFC4-AXL	分散型フォワーディングカード 4XL (DFC4XL)	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

## 分散型フォワーディングカード 4

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-F6K-DFC4-E WS-F6K-DFC4-A	分散型フォワーディングカード 4 (DFC4)	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

## 集中型フォワーディングカード (WS-F6700-CFC)

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-F6700-CFC	CEF720 モジュールで使用する集中型フォワーディングカード (CFC)	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY

## 40 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール

- [Catalyst C6800-8P40G および Catalyst C6800-8P40G-XL \(9 ページ\)](#)
- [WS-X6904-40G-2T 4 ポート 40 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール \(11 ページ\)](#)

## Catalyst C6800-8P40G および Catalyst C6800-8P40G-XL

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
C6800-8P40G	8 ポート 40 ギガビットイーサネット QSFP モジュール	
C6800-8P40G-XL	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.5(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.5(1)SY

- C6800-8P40G および C6800-8P40G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェア コマンドでは C6800-8P40G または C6800-8P40G-XL と表示されます。
- QoS アーキテクチャ
  - 受信:
    - 1p7q4t(デフォルト)
    - 2p6q4t(設定可能)
  - 送信:
    - 1p7q4t(デフォルト)
    - 2p6q4t(設定可能)
- ポート数:8
- ポートグループ:4
  - ポートグループごとに 2 つのポート
  - ポートグループ 1:1,3
  - ポートグループ 2:2,4
  - ポートグループ 3:5,7
  - ポートグループ 4:6,8
- パフォーマンスモード:あり、ポートグループ単位
- C6800-8P40G または C6800-8P40G-XL のいずれかを設置する前に、リリース 15.5(1)SY 以降にアップグレードします。
- サポート対象モード
  - C6807-XL の場合:
    - 8 ポート:オーバーサブスクリプション モード 2:1
    - 4 ポート:パフォーマンスモード 1:1
- 転送エンジンの数:2
- ポートバッファ
  - オーバーサブスクリプション モード:
    - ポートあたり 1000 MB(出力)
    - ポートあたり 3.9 MB(入力)
  - パフォーマンスモード:
    - ポートあたり 2000 MB(出力)
    - ポートあたり 7.8 MB(入力)
  - サポートされているトランシーバのリスト:
    - QSFP-40G-SR4
    - QSFP-40G-ER4
    - QSFP-40G-LR4
    - QSFP-40G-CSR4
    - QSFP-40G-SR-BD
    - QSFP-H40G-ACU7M
    - QSFP-H40G-ACU10M
    - QSFP-H40G-AOC1M
    - QSFP-H40G-AOC2M
    - QSFP-H40G-AOC3M
    - QSFP-H40G-AOC5M
    - QSFP-H40G-AOC7M
    - QSFP-H40G-AOC10M

QSFP-H40G-AOC15M  
 QSFP-40G-SR4-S  
 QSFP-40G-LR4-S  
 WSP-Q40GLR4L

## WS-X6904-40G-2T 4ポート 40ギガビットイーサネットスイッチングモジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小ソフトウェアバージョン
<b>WS-X6904-40G-2TXL</b> ( <b>WS-F6K-DFC4-EXL</b> 搭載)	4ポート 40ギガビットイーサネットモジュール	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY1
<b>WS-X6904-40G-2T</b> ( <b>WS-F6K-DFC4-E</b> 搭載)	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

- WS-X6904-40G-2T および WS-X6904-40G-2TXL はオーダー可能な製品 ID です。
- 前面パネルには WS-X6904-40G というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、WS-F6K-DFC4-E または WS-F6K-DFC4-EXL のいずれかか WS-X6904-40G が表示されます。
- ハードウェア抽象化層 (HAL) のサポートがあります。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx): **1p7q4t** または **2p6q4t/1p7q4t** あるいは **2p6q4t**
- デュアル スイッチ ファブリック接続:
  - ファブリックチャンネル #1: ポート 1 および 2 または 5 ~ 12
  - ファブリックチャンネル #2: ポート 3 および 4 または 13 ~ 20
- ポート数: 4 または 16  
 ポートグループの数: 2  
 ポートグループあたりのポート:  
 - ポート 1 と 2 または 5 ~ 12  
 - ポート 3 と 4 または 13 ~ 20
- dCEF2T。
- 3 スロットシャーシでは、**WS-C6503-E** ハードウェアリビジョン 1.3 以降でのみサポートされます。
- WS-X6904-40G を設置する前に、リリース 15.0(1)SY1 以降にアップグレードします (**「EFSU の互換性」セクション (51 ページ)** を参照)。
- 各ベイは、**CFP** トランシーバ (1 つの 40 ギガビットイーサネットポートをサポート) または **FourX** アダプタ (4 つの 10 ギガビットイーサネット **SFP+** トランシーバをサポート) をサポートできます。
- WS-X6904-40G でサポートされるモード (デフォルトモードはオーバーサブスクライブ):
  - 40 ギガビットイーサネット オーバーサブスクライブ モード:
    - 40 ギガビットイーサネットポート X 4
    - ポート 1 ~ 4
  - 10 ギガビットイーサネット オーバーサブスクライブ モード:
    - 10 ギガビットイーサネットポート X 16
    - ポート 5 ~ 20

- 混在 10/40 ギガビット イーサネット オーバーサブスクリプション モード:
  - 左側のベイ:
    - 40 ギガビット イーサネット ポート X 2(1 と 2)
    - または 10 ギガビット イーサネット ポート X 8(5 ~ 12)
  - 右側のベイ:
    - 40 ギガビット イーサネット ポート X 2(3 と 4)
    - または 10 ギガビット イーサネット ポート X 8(13 ~ 20)
- パフォーマンスモード:
  - モジュールまたはベイごとに設定可能:
 

```
no hw-module slot slot_number oversubscription [port-group port_group_number]
```
  - 左上のベイと右上のベイでサポートされます。
  - 次のいずれかの組み合わせ:
    - 40 ギガビット イーサネット ポート 1(左上のベイ)およびポート 3(右上のベイ)
    - 10 ギガビット イーサネット ポート 5 ~ 9(左上のベイ)およびポート 13 ~ 16(右上のベイ)
    - 左上のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート 1 または 10 ギガビット イーサネット ポート 5 ~ 9
    - 右上のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート 3 または 10 ギガビット イーサネット ポート 13 ~ 16
- 40 ギガビット イーサネット パフォーマンス モード、10 ギガビット イーサネット オーバーサブスクリプション モード:
  - 次のいずれかの組み合わせ:
    - 左上のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート 1
    - 右側のベイ:10 ギガビット イーサネット ポート X 8(13 ~ 20)
    - 左側のベイ:10 ギガビット イーサネット ポート X 8(5 ~ 13)
    - 右上のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート 3
- 40 ギガビット イーサネット オーバーサブスクリプション モード、10 ギガビット イーサネット パフォーマンス モード:
  - 次のいずれかの組み合わせ:
    - 左上のベイ:10 ギガビット イーサネット ポート X 4(5 ~ 9)
    - 右側のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート X 2(3 と 4)
    - 左側のベイ:40 ギガビット イーサネット ポート X 2(1 と 2)
    - 右上のベイ:10 ギガビット イーサネット ポート X 4(13 ~ 16)
- WS-X6904-40G の詳細については、次のマニュアルを参照してください。
  - 『[40 Gigabit Ethernet on Cisco Catalyst 6500 Series Switches: How It Works](#)』
  - 『[40 Gigabit Ethernet Interface Module for Cisco Catalyst 6500 Series Switches Data Sheet](#)』

## 10 ギガビット イーサネット スイッチング モジュール

- [Catalyst C6800-8P10G、Catalyst C6800-8P10G-XL \(13 ページ\)](#)
- [Catalyst C6800-16P10G、Catalyst C6800-16P10G-XL \(14 ページ\)](#)

- Catalyst C6800-32P10G、Catalyst C6800-32P10G-XL (15 ページ)
- WS-X6908-10GE 8 ポート 10 ギガビットイーサネット X2 スイッチングモジュール (16 ページ)
- WS-X6816-10T-2T、WS-X6716-10T 16 ポート 10 ギガビットイーサネット銅線スイッチングモジュール (17 ページ)
- WS-X6816-10G-2T、WS-X6716-10G 16 ポート 10 ギガビットイーサネット X2 スイッチングモジュール (18 ページ)
- WS-X6704-10GE 4 ポート 10 ギガビットイーサネット XENPAK スイッチングモジュール (19 ページ)

## Catalyst C6800-8P10G、Catalyst C6800-8P10G-XL

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
C6800-8P10G-XL	8 ポート 10 ギガビットイーサネット SFP+ モジュール	
C6800-8P10G	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.2(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

- C6800-8P10G および C6800-8P10G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、C6800-8P10G または C6800-8P10G-XL と表示されます。
- QoS アーキテクチャ
  - 受信:
    - 1p7q4t (デフォルト)
    - 2p6q4t (設定可能)
  - 送信:
    - 1p7q4t (デフォルト)
    - 2p6q4t (設定可能)
- ポート数: 8
- ポートグループ: 2
  - ポートグループごとに 2 つのポートセット
  - ポートグループ 1: 1、2、3、4
  - ポートグループ 2: 5、6、7、8
- オーバーサブスクリプション: 該当なし
- C6800-8P10G または C6800-8P10G-XL のいずれかを設置する前に、リリース 15.2(1)SY 以降にアップグレードします。
- サポート対象モード
  - C6807-XL の場合: 8 ポート: ラインレート 1:1
  - Catalyst 6500-E の場合: 8 ポート: ラインレート 1:1

- 転送エンジンの数:1
- ポートバッファ
  - ポートあたり 500 MB(出力)
  - ポートあたり 2.5 MB(入力)

## Catalyst C6800-16P10G、Catalyst C6800-16P10G-XL

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
C6800-16P10G-XL	16 ポート 10 ギガビットイーサネット SFP+ モジュール	
C6800-16P10G	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.2(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

- C6800-16P10G および C6800-16P10G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、C6800-16P10G または C6800-16P10G-XL と表示されます。
- QoS アーキテクチャ
  - 受信:
    - 1p7q4t(デフォルト)
    - 2p6q4t(設定可能)
  - 送信:
    - 1p7q4t(デフォルト)
    - 2p6q4t(設定可能)
- ポート数:16
- ポートグループ:2
  - ポートグループごとに 2 つのポートセット
  - ポートグループ 1:
    - 1、2、3、4
    - 5、6、7、8
  - ポートグループ 2:
    - 9、10、11、12
    - 13、14、15、16
- パフォーマンスモード:あり、ポートグループ単位
- C6800-16P10G または C6800-16P10G-XL のいずれかを設置する前に、リリース 15.2(1)SY 以降にアップグレードします。
- サポート対象モード
  - C6807-XL の場合:
    - 16 ポート:オーバーサブスクリプション モード 2:1
    - 8 ポート:パフォーマンスモード 1:1

- Catalyst 6500-E の場合:
  - 16 ポート: オーバーサブスクリプション モード 2:1
  - 8 ポート: パフォーマンスモード 1:1
- 転送エンジンの数: 1
- ポートバッファ
  - オーバーサブスクリプション モード:
    - ポートあたり 250 MB (出力)
    - ポートあたり 1.25 MB (入力)
  - パフォーマンスモード:
    - ポートあたり 500 MB (出力)
    - ポートあたり 2.5 MB (入力)

## Catalyst C6800-32P10G、Catalyst C6800-32P10G-XL

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
C6800-32P10G-XL	32 ポート 10 ギガビットイーサネット SFP+ モジュール	
C6800-32P10G	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.2(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

- C6800-32P10G および C6800-32P10G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、C6800-32P10G または C6800-32P10G-XL と表示されます。
- QoS アーキテクチャ
  - 受信:
    - 1p7q4t (デフォルト)
    - 2p6q4t (設定可能)
  - 送信:
    - 1p7q4t (デフォルト)
    - 2p6q4t (設定可能)
- ポート数: 32
- ポートグループ: 4
  - ポートグループごとに 2 つのポートセット
  - ポートグループ 1:
    - 1、3、5、7
    - 9、11、13、15
  - ポートグループ 2:
    - 2、4、6、8
    - 10、12、14、16

- ポートグループ 3:  
17、19、21、23  
25、27、29、31
- ポートグループ 4:  
18、20、22、24  
26、28、30、32
- パフォーマンスモード:あり、ポートグループ単位
- 4C6800-32P10G または C6800-32P10G-XL のいずれかを設置する前に、リリース 15.2(1)SY 以降にアップグレードします。
- サポート対象モード
  - C6807-XL の場合:  
32 ポート:オーバーサブスクリプション モード 2:1  
16 ポート:パフォーマンスモード 1:1
  - Catalyst 6500-E の場合:  
32 ポート:オーバーサブスクリプション モード 4:1  
16 ポート:パフォーマンスモード 2:1
- 転送エンジンの数:2
- ポートバッファ
  - オーバーサブスクリプション モード:  
ポートあたり 250 MB(出力)  
ポートあたり 1.2 MB(入力)
  - パフォーマンスモード:  
ポートあたり 500 MB(出力)  
ポートあたり 2.5 MB(入力)

## WS-X6908-10GE 8 ポート 10 ギガビットイーサネット X2 スイッチングモジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-X6908-10G-XL (WS-F6K-DFC4-EXL 搭載)	8 ポート 10 ギガビットイーサネット X2 モジュール	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
WS-X6908-10G (WS-F6K-DFC4-E 搭載)	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

- WS-X6908-10G および WS-X6908-10G-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- 前面パネルには WS-X6908-10GE というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、WS-F6K-DFC4-E または WS-F6K-DFC4-EXL のいずれかと WS-X6908-10GE が表示されます。
- dCEF2T
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx) : 8q4t/1p7q4t
- デュアル スイッチ ファブリック接続  
ファブリックチャネル #1: ポート 2、3、6、8  
ファブリックチャネル #2: ポート 1、4、5、7

- ポート数:8  
ポートグループの数:8  
ポートグループ単位のポート範囲: 各グループに 1 ポート
- 3 スロットシャーシでは、[WS-C6503-E](#) ハードウェアリビジョン 1.3 以降でのみサポートされます。

## WS-X6816-10T-2T、WS-X6716-10T 16 ポート 10 ギガビットイーサネット銅線スイッチング モジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>WS-X6816-10T-2TXL</b> ( <a href="#">WS-F6K-DFC4-EXL</a> 搭載)	16 ポート 10 ギガビットイーサネット銅線 (RJ-45) モジュール	
<b>WS-X6716-10T-3CXL</b> ( <a href="#">WS-F6K-DFC4-EXL=</a> を使用してアップグレードする必要あり)	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
<b>WS-X6816-10T-2T</b> ( <a href="#">WS-F6K-DFC4-E</a> 搭載)	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY
<b>WS-X6716-10T-3C</b> ( <a href="#">WS-F6K-DFC4-E=</a> を使用してアップグレードする必要あり)		

- オーダー可能な製品 ID は次のとおりです。
  - WS-X6816-10T-2TXL
  - WS-X6816-10T-2T
  - WS-X6716-10T-3CXL
  - WS-X6716-10T-3C
- 前面パネルには WS-X6716-10T というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、任意の DFC と WS-X6716-10T が表示されます。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx):
  - [オーバーサブスクリプションモード](#): **1p7q2t/1p7q4t**
  - パフォーマンスモード: **8q4t/1p7q4t**
- デュアル スイッチ ファブリック 接続  
ファブリックチャネル #1: ポート 1 ~ 8  
ファブリックチャネル #2: ポート 9 ~ 16
- ポート数: 16  
ポートグループの数: 4  
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 4, 5 ~ 8, 9 ~ 12, 13 ~ 16
- [オーバーサブスクリプション](#) モードで設定されていない場合は、仮想スイッチリンクでサポートされます。
- ポートのオーバーサブスクリプションを設定するには、**hw-module slot** コマンドを使用します。

## WS-X6816-10G-2T、WS-X6716-10G 16ポート 10ギガビットイーサネット X2 スイッチング モジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>WS-X6816-10G-2TXL</b> ( <b>WS-F6K-DFC4-EXL</b> 搭載)	16ポート 10ギガビットイーサネット X2 モジュール	
<b>WS-X6716-10G-3CXL</b> ( <b>WS-F6K-DFC4-EXL=</b> を使用して アップグレードする必要あり)	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
<b>WS-X6816-10G-2T</b> ( <b>WS-F6K-DFC4-E</b> 搭載)	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY
<b>WS-X6716-10G-3C</b> ( <b>WS-F6K-DFC4-E=</b> を使用して アップグレードする必要あり)		

- オーダー可能な製品 ID は次のとおりです。
  - WS-X6816-10G-2TXL
  - WS-X6816-10G-2T
  - WS-X6716-10G-3CXL
  - WS-X6716-10G-3C
- 前面パネルには WS-X6716-10GE というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、任意の DFC と WS-X6716-10GE が表示されます。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx):
  - **オーバーサブスクリプションモード: 1p7q2t/1p7q4t**
  - **パフォーマンスモード: 8q4t/1p7q4t**
- デュアルスイッチファブリック接続  
 ファブリックチャンネル #1: ポート 1 ~ 8  
 ファブリックチャンネル #2: ポート 9 ~ 16
- ポート数: 16  
 ポートグループの数: 4  
 ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 4, 5 ~ 8, 9 ~ 12, 13 ~ 16
- **オーバーサブスクリプション** モードで設定されていない場合は、仮想スイッチリンクでサ  
 ポートされます。
- ポートのオーバーサブスクリプションを設定するには、**hw-module slot** コマンドを使用します。

## WS-X6704-10GE 4ポート 10ギガビットイーサネット XENPAK スイッチングモジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小ソフトウェアバージョン
WS-X6704-10G	4ポート 10ギガビットイーサネット XENPAK Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用  (注) Supervisor Engine 6T は DFC4/4XL でサポートされ、1 GB 以上の RAM が必要です。	15.3(1)SY

- WS-X6704-10GE には、次のいずれかが必要です。
  - Supervisor Engine 2T-10GE で使用:
    - WS-F6K-DFC4-AXL
    - WS-F6K-DFC4-A
    - WS-F6700-CFC
  - Supervisor Engine 6T で使用:
    - WS-F6K-DFC4-AXL
    - WS-F6K-DFC4-A
 SUP6T では 1 GB の DRAM が必要です。次の資料を参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config\\_Notes/78\\_12409.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config_Notes/78_12409.html)
- WS-F6700-CFC (CSCtk82279) では 512 MB の DRAM が必要です。次の資料を参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config\\_Notes/78\\_12409.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/switches/lan/catalyst6500/hardware/Config_Notes/78_12409.html)
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx): 8q8t/1p7q8t
- デュアル スイッチ ファブリック接続:  
 ファブリックチャンネル #1: ポート 3 と 4  
 ファブリックチャンネル #2: ポート 1 と 2
- ポート数: 4  
 ポートグループの数: 4  
 ポートグループ単位のポート範囲: 各グループに 1 ポート
- WS-X6704-10G は、オーダー可能な製品 ID です。
- 前面パネルには WS-X6704-10GE というラベルが付いています。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドでは、任意の DFC と WS-X6704-10GE が表示されます。
- WS-X6704-10GE ポートでは、STP BPDU はトラフィックストーム制御のマルチキャスト抑制から除外されません。ネットワークデバイスを相互接続する STP で保護された WS-X6704-10GE ポートでは、マルチキャスト抑制を設定しないでください。(CSCsg86315)

## Cisco Catalyst 6880-X シリーズ拡張可能な固定型アグリゲーションスイッチ

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小ソフトウェアバージョン
<b>C6880-X-LE</b>	16 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、4 つのポートカードスロット、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。	15.1 (2) SY1
<b>C6880-X</b>	16 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、4 つのポートカードスロット、2 つの電源スロット。大規模な FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。	
<b>C6880-X-LE-16P10G<sup>1</sup></b>	標準テーブル付きマルチレートポートカードです。このモジュールには、1 ギガビット SFP または 10 ギガビット SFP+ モジュールをサポートする 16 個の 10 ギガビットまたは 1 ギガビットのモジュールスロットがあります。Catalyst 6880-X-LE スイッチモデルでのみサポートされます。	15.1(2)SY2
<b>C6880-X-16P10G<sup>1</sup></b>	XL テーブル付きマルチレートポートカードです。このモジュールには、1 ギガビット SFP または 10 ギガビット SFP+ モジュールをサポートする 16 個の 10 ギガビットまたは 1 ギガビットのモジュールスロットがあります。Catalyst 6880-X スイッチモデルでのみサポートされます。	

注 詳細については、次のマニュアルを参照してください。

[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/data\\_sheet\\_c78-728228.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/data_sheet_c78-728228.html)

[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/white\\_paper\\_c11-728540.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/white_paper_c11-728540.html)

[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/white\\_paper\\_c11-728541.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6880-x-switch/white_paper_c11-728541.html)

1. これらのポートカードは、指定されたスイッチモデルでのみサポートされ、相互運用できません。

## Cisco Catalyst 6840-X シリーズ固定型アグリゲーションスイッチ

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小ソフトウェアバージョン
<b>C6816-X-LE</b>	16 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。	15.2(2)SY
<b>C6832-X-LE</b>	32 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。	
<b>C6824-X-LE-40G</b>	24 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、2 つの 40 ギガビット (QSFP)、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。	15.2(2)SY
<b>C6840-X-LE-40G</b>	40 の 10 ギガビット (SFP+) / 1 ギガビットポート (SFP)、2 つの 40 ギガビット (QSFP)、2 つの電源スロット。標準の FIB/ACL/NetFlow テーブルをサポートします。	

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
注 詳細については、次のマニュアルを参照してください。		
<a href="http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6800-series-switches/datasheet-c78-734470.html">http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6800-series-switches/datasheet-c78-734470.html</a>		
これらのポートカードは、指定されたスイッチモデルでのみサポートされ、相互運用できません。		

## Cisco Catalyst 6807-XL モジュラスイッチ

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
C6807-XL	7 スロットのモジュラ型シャーシ。 スイッチは冗長電源モジュール (AC 入力)、冗長スーパーバイザエンジン、ファントレイ、電源コンバータモジュール、クロックモジュール、および電圧終端拡張 (VTT-E) モジュールをサポートします。	15.1(2)SY3
注 詳細については、次のマニュアルを参照してください。		
<a href="http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6807-xl-switch/data_sheet_c78-728229.html">http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6807-xl-switch/data_sheet_c78-728229.html</a>		
<a href="http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6807-xl-switch/white_paper_c11-728264.html">http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalyst-6807-xl-switch/white_paper_c11-728264.html</a>		

**Supervisor 6T 搭載の Catalyst 6500 および Catalyst 6807-XL スイッチの IA クライアント最大値:**

値の説明:	最大値	ソフトウェアバージョン
IA クライアントポートの最大数	42 台の Catalyst 6800ia アクセススイッチに 2016 個のポート	15.3(1)SY1
IA クライアントスイッチの最大数	42 (IA クライアントの FEX 番号 1 ~ 42 の範囲で定義)	
IA クライアントスタックあたりの最大 Catalyst 6800ia アクセススイッチ数	5 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IA クライアントスタックは、単一のスイッチユニットとして機能します。</li> <li>• インスタントアクセスは、スタックの作成にスタッキングケーブルを使用した接続のみサポートします。</li> <li>• 複数の Catalyst 6800ia アクセススイッチが搭載された IA クライアントでは、スタック内のスイッチが増分スイッチ番号を自身に割り当てます (自動スタッキング機能)。</li> <li>• 設定されている IA クライアントに Catalyst 6800ia アクセススイッチを追加すると、追加スイッチは増分スイッチ番号を自身に割り当てます。</li> <li>• アクセススイッチ番号が変更された場合、IA クライアントの設定は保持されません。</li> </ul>	

## Supervisor 2T 搭載の Catalyst 6500 および Catalyst 6807-XL スイッチの IA クライアント最大値:

値の説明:	最大値	ソフトウェアバージョン
IA クライアントポートの最大数	1500 ポート	15.2(1)SY1 <sup>1</sup>
IA クライアントスイッチの最大数	32	
IA クライアントスタックあたりの最大 Catalyst 6800ia アクセススイッチ数	5 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IA クライアントスタックは、単一のスイッチユニットとして機能します。</li> <li>• インスタントアクセスは、スタックの作成にスタッキングケーブルを使用した接続のみサポートします。</li> <li>• 複数の Catalyst 6800ia アクセススイッチが搭載された IA クライアントでは、スタック内のスイッチが増分スイッチ番号を自身に割り当てます(自動スタッキング機能)。</li> <li>• 設定されている IA クライアントに Catalyst 6800ia アクセススイッチを追加すると、追加スイッチは増分スイッチ番号を自身に割り当てます。</li> <li>• アクセススイッチ番号が変更された場合、IA クライアントの設定は保持されません。</li> </ul>	

1. Cisco IOS リリース 15.2(1)SY および 15.2(1)SY0a の規模は、25 台のクライアントスイッチに 1200 のポートおよび IA クライアントスタックごとに 5 つです。

## Catalyst 6840-X スイッチの IA クライアント最大値

値の説明:	最大値	ソフトウェアバージョン
IA クライアントポートの最大数	32 台の Catalyst 6800ia アクセススイッチに 1500 個のポート	15.2 (2) SY
IA クライアントスイッチの最大数	32	
IA クライアントスタックあたりの最大 Catalyst 6800ia アクセススイッチ数	5 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IA クライアントスタックは、単一のスイッチユニットとして機能します。</li> <li>• インスタントアクセスは、スタックの作成にスタッキングケーブルを使用した接続のみサポートします。</li> <li>• 複数の Catalyst 6800ia アクセススイッチが搭載された IA クライアントでは、スタック内のスイッチが増分スイッチ番号を自身に割り当てます(自動スタッキング機能)。</li> <li>• 設定されている IA クライアントに Catalyst 6800ia アクセススイッチを追加すると、追加スイッチは増分スイッチ番号を自身に割り当てます。</li> <li>• アクセススイッチ番号が変更された場合、IA クライアントの設定は保持されません。</li> </ul>	

## Catalyst 6880-X スイッチのクライアント最大値

値の説明:	最大値	ソフトウェアバージョン
IA クライアントポートの最大数	42 台の Catalyst 6800ia アクセススイッチに 2016 個のポート	15.2(1)SY
IA クライアントスイッチの最大数	42 (IA クライアントの FEX 番号 1 ~ 42 の範囲で定義)	
IA クライアントスタックあたりの最大 Catalyst 6800ia アクセススイッチ数	5 <ul style="list-style-type: none"> <li>IA クライアントスタックは、単一のスイッチユニットとして機能します。</li> <li>インスタントアクセスは、スタックの作成にスタッキングケーブルを使用した接続のみサポートします。</li> <li>複数の Catalyst 6800ia アクセススイッチが搭載された IA クライアントでは、スタック内のスイッチが増分スイッチ番号を自身に割り当てます(自動スタッキング機能)。</li> <li>設定されている IA クライアントに Catalyst 6800ia アクセススイッチを追加すると、追加スイッチは増分スイッチ番号を自身に割り当てます。</li> <li>アクセススイッチ番号が変更された場合、IA クライアントの設定は保持されません。</li> </ul>	

## ギガビットイーサネットスイッチングモジュール

- [WS-X6848-SFP-2T、WS-X6748-SFP 48 ポート ギガビットイーサネット SFP スイッチングモジュール\(26 ページ\)](#)
- [WS-X6824-SFP-2T、WS-X6724-SFP 24 ポート ギガビットイーサネット SFP スイッチングモジュール\(27 ページ\)](#)

### WS-X6848-SFP-2T、WS-X6748-SFP 48 ポート ギガビットイーサネット SFP スイッチングモジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小ソフトウェアバージョン
<b>WS-X6848-SFP-2TXL</b> ( <a href="#">WS-F6K-DFC4-AXL</a> 搭載)	48 ポート ギガビットイーサネット SFP	
<b>WS-X6848-SFP-2T</b> ( <a href="#">WS-F6K-DFC4-A</a> 搭載)	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
<b>WS-X6748-SFP</b> ( <a href="#">WS-F6700-CFC</a> を使用するか、 <a href="#">WS-F6K-DFC4-AXL</a> または <a href="#">WS-F6K-DFC4-A</a> を使用してアップグレード)	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

- WS-X6748-SFP には、次のいずれかが必要です。
  - Supervisor Engine 2T-10GE で使用:
    - WS-F6K-DFC4-AXL
    - WS-F6K-DFC4-A
    - WS-F6700-CFC
  - Supervisor Engine 6T で使用:
    - WS-F6K-DFC4-AXL
    - WS-F6K-DFC4-A
- QoS アーキテクチャ: **2q8t/1p3q8t**
- デュアルスイッチファブリック接続  
 ファブリックチャンネル #1: ポート 2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、22、24、26、28、30、32、34、36、38、40、42、44、46、48  
 ファブリックチャンネル #2: ポート 1、3、5、7、9、11、13、15、17、19、21、23、25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47
- ポート数: 48  
 ポートグループの数: 4  
 ポートグループ単位のポート範囲:
  - 1、3、5、7、9、11、13、15、17、19、21、23
  - 2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、22、24
  - 25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47
  - 26、28、30、32、34、36、38、40、42、44、46、48

- WS-X6848-SFP-2T および WS-X6748-SFP ポートでは、STP BPDU は [トラフィックストーム制御](#) のマルチキャスト抑制から除外されません。ネットワークデバイスを相互接続する STP で保護された WS-X6848-SFP-2T または WS-X6748-SFP ポートでは、マルチキャスト抑制を設定しないでください。

## WS-X6824-SFP-2T、WS-X6724-SFP 24 ポート ギガビットイーサネット SFP スイッチングモジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小ソフトウェアバージョン
<b>WS-X6824-SFP-2TXL</b> ( <a href="#">WS-F6K-DFC4-AXL</a> 搭載)	24 ポートギガビット Mbps イーサネット <a href="#">SFP</a>	
<b>WS-X6824-SFP-2T</b> ( <a href="#">WS-F6K-DFC4-A</a> 搭載)		Supervisor Engine 2T-10GE で使用
<b>WS-X6724-SFP</b> ( <a href="#">WS-F6700-CFC</a> を使用するか、 <a href="#">WS-F6K-DFC4-AXL</a> または <a href="#">WS-F6K-DFC4-A</a> を使用してアップグレード)		Supervisor Engine 6T で使用

- WS-X6724-SFP には、次のいずれかが必要です。
  - Supervisor Engine 2T-10GE で使用:
    - [WS-F6K-DFC4-AXL](#)
    - [WS-F6K-DFC4-A](#)
    - [WS-F6700-CFC](#)
  - Supervisor Engine 6T で使用:
    - [WS-F6K-DFC4-AXL](#)
    - [WS-F6K-DFC4-A](#)
- QoS アーキテクチャ: [2q8t/1p3q8t](#)
- ポート数: 24  
ポートグループの数: 2  
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 12、13 ~ 24
- WS-X6824-SFP-2T および WS-X6724-SFP ポートでは、STP BPDU は [トラフィックストーム制御](#) のマルチキャスト抑制から除外されません。ネットワークデバイスを相互接続する STP で保護された WS-X6824-SFP-2T または WS-X6724-SFP ポートでは、マルチキャスト抑制を設定しないでください。

## 10/100/1000 イーサネット スイッチング モジュール

ここでは、サポートされている 10/100/1000 イーサネット スイッチング モジュールについて説明します。

- [Catalyst C6800-48P-TX](#)、[Catalyst C6800-48P-TX-XL](#)、[Catalyst C6800-48P-SFP](#)、[Catalyst C6800-48P-SFP-XL](#) ([28 ページ](#))

- [WS-X6848-TX-2T、WS-X6748-GE-TX \(29 ページ\)](#)
- [WS-X6148E-GE-45AT \(30 ページ\)](#)
- [WS-X6148A-GE-TX \(30 ページ\)](#)

## Catalyst C6800-48P-TX、Catalyst C6800-48P-TX-XL、Catalyst C6800-48P-SFP、Catalyst C6800-48P-SFP-XL

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>C6800-48P-TX-XL</b>	48 ポート 10/100/1000 RJ-45	
<b>C6800-48P-TX</b>	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.2(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>C6800-48P-SFP-XL</b>	48 ポート 10/100/1000 SFP	
<b>C6800-48P-SFP</b>	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.2(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

- C6800-48P-SFP および C6800-48P-SFP-XL または C6800-48P-TX および C6800-48P-TX-XL はオーダー可能な製品 ID です。
- Cisco IOS ソフトウェアコマンドには、SFP カードの場合は C6800-48P-SFP または C6800-48P-SFP-XL、TX ベースのカードの場合は C6800-48P-TX または C6800-48P-TX-XL が表示されます。
- QoS アーキテクチャ
  - 受信:  
2q8t (TX および SFP ベースのカード用)
  - 送信:  
1p3q8t (TX および SFP ベースのカード用)
- ポート数:48
- フォワーディングおよびパフォーマンス:DFC4-A または DFC4-AXL ドーターカードを搭載、パフォーマンスを提供(持続的なパフォーマンスは L2、IPv4、および MPLS 転送で最大 60 Mbps、IPv6 転送で 30 Mbps)。
- これらのモジュールを設置する前に、リリース 15.2(1)SY 以降にアップグレードします。
- バックプレーン接続:2 つの全二重 20 Gbps スイッチ ファブリック チャンネルを使用してスイッチファブリックに接続します。

- TX モデルは、カテゴリ 5、5E、および 6 以上の銅線 RJ45 コネクタ 100 m をサポートします。SFP モデルは、SX、LX/LH、-ZX、-T、LC コネクタを使用した 1000BASE-T-CWDM をサポートします。
- 転送エンジンの数: 1
- ポートバッファ (TX および SFP ベースの両方のカード用)
  - 受信: 173 KB
  - 送信: 1.22 MB

詳細については、次のマニュアルを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/switches/catalogst/6800-series-switches/datasheet-c78-733663.html>

## WS-X6848-TX-2T、WS-X6748-GE-TX

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-X6848-TX-2TXL (WS-F6K-DFC4-AXL 搭載)	48 ポート 10/100/1000 RJ-45 Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
WS-X6848-TX-2T (WS-F6K-DFC4-A 搭載)	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY
WS-X6748-GE-TX		

- WS-X6748-GE-TX には、次のいずれかが必要です。
  - Supervisor Engine 2T-10GE で使用:
    - WS-F6K-DFC4-AXL
    - WS-F6K-DFC4-A
    - WS-F6700-CFC
  - Supervisor Engine 6T で使用:
    - WS-F6K-DFC4-AXL
    - WS-F6K-DFC4-A
- QoS アーキテクチャ: **2q8t/1p3q8t**
- デュアル スイッチ ファブリック 接続  
ファブリックチャネル #1: ポート 25 ~ 48  
ファブリックチャネル #2: ポート 1 ~ 24
- ポート数: 48  
ポートグループの数: 4  
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 12, 13 ~ 24, 25 ~ 36, 37 ~ 48
- WS-X6848-TX-2T および WS-X6748-GE-TX ポートでは、STP BPDU は **トラフィックストーム制御** のマルチキャスト抑制から除外されません。ネットワークデバイスを相互接続する STP で保護された WS-X6848-TX-2T または WS-X6748-GE-TX ポートでは、マルチキャスト抑制を設定しないでください。

## WS-X6148E-GE-45AT

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-X6148E-GE-45AT	48 ポート 10/100/1000 Mbps	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
	VSS モードの Supervisor Engine 2T-10GE で 使用	15.1(1)SY

- RJ-45
- WS-F6K-48-AT を採用する WS-X6148E-GE-45AT は、最大 48 ポートのクラス 4 PoE+ (30.0W) をサポートします。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx) : **1q2t/1p3q8t**
- ポート数:48  
ポートグループの数:6  
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 8, 9 ~ 16, 17 ~ 24, 25 ~ 32, 33 ~ 40, 41 ~ 48
- 8 ポートの各セットの集約帯域幅 (1 ~ 8, 9 ~ 16, 17 ~ 24, 25 ~ 32, 33 ~ 40, および 41 ~ 48) は 1 Gbps です。
- トラフィックストーム制御はサポートされません。

## WS-X6148A-GE-TX

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-X6148A-GE-TX	48 ポート 10/100/1000 Mbps	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用 (VSS モードでは非サポート)	15.0(1)SY

- RJ-45
- WS-X6148A-GE-TX は [WS-F6K-GE48-AF](#) または [WS-F6K-48-AF](#) をサポートします。
- [WS-F6K-GE48-AF](#) を使用すると、最大 45 ポートの ePoE (16.8W) をサポートします。
- QoS ポートアーキテクチャ (Rx/Tx) : **1q2t/1p3q8t**
- ポート数:48  
ポートグループの数:6  
ポートグループ単位のポート範囲: 1 ~ 8, 9 ~ 16, 17 ~ 24, 25 ~ 32, 33 ~ 40, 41 ~ 48
- 各ポートグループの集約帯域幅は 1 Gbps です。
- トラフィックストーム制御はサポートされません。

## Power over Ethernet ドーターカード

- [WS-F6K-GE48-AF、WS-F6K-48-AF\(31 ページ\)](#)

### WS-F6K-GE48-AF、WS-F6K-48-AF

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>WS-F6K-GE48-AF</b> <b>WS-F6K-48-AF</b>	以下に対応する IEEE 802.3af PoE ドーターカード: <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">WS-X6148A-GE-TX</a></li> </ul> Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY

- WS-F6K-GE48-AF および WS-F6K-48-AF は、これらのスイッチングモジュールの FRU ではありません。
- WS-X6148A-GE-TX は、最大 45 ポートの ePoE(16.8 W)をサポートします。

## トランシーバ

- [CFP モジュール\(31 ページ\)](#)
- [X2 モジュール\(32 ページ\)](#)
- [10 GE SFP+ モジュール\(34 ページ\)](#)
- [40 GE QSFP モジュール\(36 ページ\)](#)
- [XENPAK\(38 ページ\)](#)
- [Small Form-Factor Pluggable\(SFP\) モジュール\(39 ページ\)](#)
- [ギガビット インターフェイス コンバータ \(GBIC\) \(42 ページ\)](#)

### CFP モジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>CFP-40G-LR4</b>	40GBASE-LR4	15.0(1)SY1
<b>CFP-40G-SR4</b>	40GBASE-SR4	15.0(1)SY1
<b>CVR-CVR-4SFP10G</b>	各 40 GE ポートを 4 つの 10 GE SFP+ポートに変換する FourX コンバータ	15.0(1)SY1

## X2 モジュール



注

- [WS-X6716-10G](#) および [WS-X6708-10GE](#) は、末尾が -01 の番号のラベルがついている X2 モジュールをサポートしていません(この制限は、X2-10GB-LRM には適用されません)。
- [WS-X6716-10G](#) が利用可能になった後で出荷されたすべての X2 モジュールは、[WS-X6816-10G](#) および [WS-X6716-10G](#) との組み合わせで EMI 準拠になります。
- [WS-X6716-10G](#) が利用可能になる前に出荷された一部の X2 モジュールは、[WS-X6816-10G](#) および [WS-X6716-10G](#) との組み合わせで EMI 準拠になりません。次の表にリストされている各タイプの X2 モジュールの情報を参照してください。
- X2 モジュールの詳細については、Cisco 10GBASE X2 モジュールのデータシートを参照してください。

[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/10-gigabit-modules/product\\_data\\_sheet0900aecd801f92aa.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/10-gigabit-modules/product_data_sheet0900aecd801f92aa.html)

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明		最小 ソフトウェア バージョン
<b>CVR-X2-SFP10G</b>	10G X2 から <b>SFP+</b> へのコンバータ		15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-60.61=</b>	10GBASE-DWDM 1560.61 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 21	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-59.79=</b>	10GBASE-DWDM 1559.79 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 22	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-58.98=</b>	10GBASE-DWDM 1558.98 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 23	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-58.17=</b>	10GBASE-DWDM 1558.17 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 24	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-56.55=</b>	10GBASE-DWDM 1556.55 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 26	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-55.75=</b>	10GBASE-DWDM 1555.75 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 27	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-54.94=</b>	10GBASE-DWDM 1554.94 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 28	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-54.13=</b>	10GBASE-DWDM 1554.13 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 29	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-52.52=</b>	10GBASE-DWDM 1552.52 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU 31	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-51.72=</b>	10GBASE-DWDM 1551.72 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 32	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-50.92=</b>	10GBASE-DWDM 1550.92 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 33	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-50.12=</b>	10GBASE-DWDM 1550.12 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 34	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-48.51=</b>	10GBASE-DWDM 1548.51 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 36	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-47.72=</b>	10GBASE-DWDM 1547.72 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 37	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-46.92=</b>	10GBASE-DWDM 1546.92 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 38	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-46.12=</b>	10GBASE-DWDM 1546.12 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 39	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-44.53=</b>	10GBASE-DWDM 1544.53 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 41	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-43.73=</b>	10GBASE-DWDM 1543.73 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 42	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-42.94=</b>	10GBASE-DWDM 1542.94 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 43	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-42.14=</b>	10GBASE-DWDM 1542.14 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 44	15.0(1)SY
<b>DWDM-X2-40.56=</b>	10GBASE-DWDM 1540.56 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 46	15.0(1)SY

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン	
DWDM-X2-39.77=	10GBASE-DWDM 1539.77 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 47	15.0(1)SY
DWDM-X2-38.98=	10GBASE-DWDM 1538.98 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 48	15.0(1)SY
DWDM-X2-38.19=	10GBASE-DWDM 1538.19 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 49	15.0(1)SY
DWDM-X2-36.61=	10GBASE-DWDM 1536.61 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 51	15.0(1)SY
DWDM-X2-35.82=	10GBASE-DWDM 1535.82 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 52	15.0(1)SY
DWDM-X2-35.04=	10GBASE-DWDM 1535.04 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 53	15.0(1)SY
DWDM-X2-34.25=	10GBASE-DWDM 1534.25 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 54	15.0(1)SY
DWDM-X2-32.68=	10GBASE-DWDM 1532.68 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 56	15.0(1)SY
DWDM-X2-31.90=	10GBASE-DWDM 1531.90 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 57	15.0(1)SY
DWDM-X2-31.12=	10GBASE-DWDM 1531.12 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 58	15.0(1)SY
DWDM-X2-30.33=	10GBASE-DWDM 1530.33 nm X2(100-GHz ITU グリッド)	ITU-T 59	15.0(1)SY
X2-10GB-T	CAT6A/CAT7 銅線ケーブル用 10GBASE-T X2 モジュール		15.1(1)SY
X2-10GB-ZR	SMF 用 10GBASE-ZR X2 モジュール		15.0(1)SY
X2-10GB-CX4	CX4(銅線)ケーブル用 10GBASE		15.0(1)SY
X2-10GB-ER	10GBASE-ER シリアル 1550 nm 距離拡張、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ(DSF) 注 末尾が -02 の番号のラベルが付けられた X2-10GB-ER モジュールを使用した場合、 <a href="#">WS-X6716-10G</a> は <b>EMI に準拠</b> しません。		15.0(1)SY
X2-10GB-LR	10GBASE-LR シリアル 1310 nm 長距離対応、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ(DSF) 注 末尾が -02 または -03 の番号のラベルが付けられた X2-10GB-LR モジュールを使用した場合、 <a href="#">WS-X6716-10G</a> は <b>EMI に準拠</b> しません。		15.0(1)SY
X2-10GB-LRM	FDDI-grade マルチモードファイバ(MMF)用 10GBASE-LRM 注 <code>show idprom</code> コマンドではサポートされません。(CSCsj35671)		15.0(1)SY
X2-10GB-LX4	10GBASE-LX4 シリアル 1310 nm マルチモード(MMF) 注 <ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされていない 10GBASE-LX4 モジュールの詳細については、フィールド通知 62840 を参照してください。 <a href="http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/misc/FN62840.html">http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/misc/FN62840.html</a></li> <li>末尾が -01 ~ -03 の番号のラベルが付けられた X2-10GB-LX4 モジュールを使用した場合、<a href="#">WS-X6716-10G</a> は <b>EMI に準拠</b>しません。</li> </ul>		15.0(1)SY
X2-10GB-SR	10GBASE-SR シリアル 850 nm 短距離マルチモード(MMF)		15.0(1)SY

## 10 GE SFP+ モジュール

製品 ID (スペア用には「」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>DWDM-SFP10G-61.41</b>	10GBASE-DWDM 1561.41 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-60.61</b>	10GBASE-DWDM 1560.61 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-59.79</b>	10GBASE-DWDM 1559.79 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-58.98</b>	10GBASE-DWDM 1558.98 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-58.17</b>	10GBASE-DWDM 1558.17 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-57.36</b>	10GBASE-DWDM 1557.36 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-56.55</b>	10GBASE-DWDM 1556.55 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-55.75</b>	10GBASE-DWDM 1555.75 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-54.94</b>	10GBASE-DWDM 1554.94 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-54.13</b>	10GBASE-DWDM 1554.13 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-53.33</b>	10GBASE-DWDM 1553.33 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-52.52</b>	10GBASE-DWDM 1552.52 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-51.72</b>	10GBASE-DWDM 1551.72 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-50.92</b>	10GBASE-DWDM 1550.92 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-50.12</b>	10GBASE-DWDM 1550.12 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-49.32</b>	10GBASE-DWDM 1549.32 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-48.51</b>	10GBASE-DWDM 1548.51 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-47.72</b>	10GBASE-DWDM 1547.72 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-46.92</b>	10GBASE-DWDM 1546.92 nm SFP+ (100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY

製品 ID (スペア用には「」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>DWDM-SFP10G-46.12</b>	10GBASE-DWDM 1546.12 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-45.32</b>	10GBASE-DWDM 1545.32 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-44.53</b>	10GBASE-DWDM 1544.53 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-43.73</b>	10GBASE-DWDM 1543.73 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-42.94</b>	10GBASE-DWDM 1542.94 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-42.14</b>	10GBASE-DWDM 1542.14 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-41.35</b>	10GBASE-DWDM 1541.35 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-40.56</b>	10GBASE-DWDM 1540.56 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-39.77</b>	10GBASE-DWDM 1539.77 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-38.98</b>	10GBASE-DWDM 1538.98 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-38.19</b>	10GBASE-DWDM 1538.19 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-37.40</b>	10GBASE-DWDM 1537.40 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-36.61</b>	10GBASE-DWDM 1536.61 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-35.82</b>	10GBASE-DWDM 1535.82 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-35.04</b>	10GBASE-DWDM 1535.04 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-34.25</b>	10GBASE-DWDM 1534.25 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-33.47</b>	10GBASE-DWDM 1533.47 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-32.68</b>	10GBASE-DWDM 1532.68 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-31.90</b>	10GBASE-DWDM 1531.90 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-31.12</b>	10GBASE-DWDM 1531.12 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY
<b>DWDM-SFP10G-30.33</b>	10GBASE-DWDM 1530.33 nm SFP+(100-GHz ITU グリッド)	15.1(2)SY

製品 ID (スペア用には「J」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
CWDM-SFP10G-1530	CWDM 1530-nm SFP+, 10 ギガビットイーサネット	15.3(1)SY
SFP-10G-LR	1310 nm SMF の 10GBASE-LR	15.0(1)SY1
SFP-10G-ER	1550 nm SMF の 10GBASE-ER	15.0(1)SY1
SFP-10G-LRM	10GBASE-LRM 1310 nm MMF および SMF	15.0(1)SY
SFP-10G-SR	10GBASE-SR, 850 nm MMF	15.0(1)SY
SFP-10G-ZR	1550 nm SMF の 10GBASE-ZR SFP+	15.1(2)SY3
SFP-10G-LR-S	1310 nm SMF の 10GBASE-LR, S クラス	15.2(1)SY
SFP-10G-ER-S	1550 nm SMF の 10GBASE-ER, S クラス	15.2(1)SY
SFP-10G-SR-S	10GBASE-SR 850 nm MMF, S クラス	15.2(1)SY
SFP-10G-ZR-S	1550 nm SMF の 10GBASE-ZR SFP+, S クラス	15.2(1)SY
SFP-10G-BX40D-I	1330 nm SMF の 10GE	15.3(1)SY
SFP-10G-BX40U-I	1270 nm SMF の 10GE	15.3(1)SY
SFP-H10GB-CU1M	1m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-H10GB-CU1-5M	1.5m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-H10GB-CU2M	2m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-H10GB-CU2-5M	2.5m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-H10GB-CU3M	3m Twinax ケーブル、パッシブ、30AWG ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-H10GB-CU5M	5m Twinax ケーブル、パッシブ、24AWG ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-H10GB-ACU7M	7m Twinax ケーブル、アクティブ、30 AWG ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-H10GB-ACU10M	10m Twinax ケーブル、アクティブ、28 AWG ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-10G-AOC1M	1m のアクティブな光ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-10G-AOC2M	2m のアクティブな光ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-10G-AOC3M	3m のアクティブな光ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-10G-AOC5M	5m のアクティブな光ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-10G-AOC7M	7m のアクティブな光ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY
SFP-10G-AOC10M	10m のアクティブな光ケーブルアセンブリ	15.2(1)SY

## 40 GE QSFP モジュール

製品 ID (スペア用には「J」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
QSFP-40G-SR4	40GBASE-SR4, 4 レーン、850 nm MMF	15.2(2)SY
QSFP-40G-CSR4	40GBASE-CSR4, 4 レーン、850 nm MMF	15.2(2)SY
QSFP-40G-LR4	40GBASE-LR4, 1310 nm, SMF (OTU3 データレート サポート付き)	15.2(2)SY
QSFP-40G-ER4	40GBASE-ER4, 1310 nm, SMF (OTU3 データレート サポート付き)	15.2 (2) SY
QSFP-40G-SR-BD	40GBASE-SR-BiDi、デュプレックス MMF	15.2 (2) SY

製品 ID (スペア用には「」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
QSFP-40G-SR4-S	40GBASE-SR4、4 レーン、850 nm MMF、S クラス	15.3(1)SY1
QSFP-40G-LR4-S	40GBASE-LR4、1310 nm、SMF、S クラス	15.3(1)SY1
WSFP-Q40GLR4L	40GBASE-LR4-Lite、1310 nm、SMF	15.3(1)SY1
QSFP-H40G-CU1M	1m の QSFP から QSFP へのパッシブ直接接続銅ケーブル	15.2 (2) SY
QSFP-H40G-CU3M	3m の QSFP から QSFP へのパッシブ直接接続銅ケーブル	15.2 (2) SY
QSFP-H40G-CU5M	5m の QSFP から QSFP へのパッシブ直接接続銅ケーブル	15.2 (2) SY
QSFP-H40G-ACU7M	7m の QSFP から QSFP へのアクティブ直接接続銅ケーブル	15.2 (2) SY
QSFP-H40G-ACU10M	10m の QSFP から QSFP へのアクティブ直接接続銅ケーブル	15.2 (2) SY
QSFP-H40G-AOC1M	1m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル	15.3(1)SY
QSFP-H40G-AOC2M	2m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル	15.3(1)SY
QSFP-H40G-AOC3M	3m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル	15.3(1)SY
QSFP-H40G-AOC5M	5m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル	15.3(1)SY
QSFP-H40G-AOC7M	7m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル	15.3(1)SY
QSFP-H40G-AOC10M	10m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル	15.3(1)SY
QSFP-H40G-AOC15M	15m の QSFP から QSFP へのアクティブ光ケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4SFP10G-CU1M	1m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4SFP10G-CU3M	3m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4SFP10G-CU5M	5m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4X10G-AC7M	7m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4X10G-AC10M	10m の QSFP から 4 つの SFP+ への銅線ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4X10G-AOC1M	1m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4X10G-AOC2M	2m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4X10G-AOC3M	3m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4X10G-AOC5M	5m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4X10G-AOC7M	7m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
QSFP-4X10G-AOC10M	10m の QSFP から 4 つの SFP+ へのアクティブ光ブレイクアウトケーブル	15.3(1)SY
CVR-4SFP10G-QSFP	4 x SFP10G to QSFP リバースアダプタ	15.3(1)SY

## XENPAK



注

- DWDM XENPAK の詳細については、Cisco 10GBase DWDM XENPAK モジュールのデータシートを参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/dwdm-transceiver-modules/product\\_data\\_sheet0900aecd801f9333.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/dwdm-transceiver-modules/product_data_sheet0900aecd801f9333.html)

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
XENPAK-10GB-LRM	MMF 向け 10GBASE-LRM XENPAK モジュール 注 show idprom コマンドではサポートされません。(CSCsl21260)	15.0(1)SY
DWDM-XENPAK-30.33	10GBASE 高密度波長多重分割 (DWDM) 100-GHz ITU グリッド	15.0(1)SY
WDM-XENPAK-REC	10GBASE 受信専用波長分割多重 (WDM)	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-CX4	CX4 (銅線) ケーブル用 10GBASE、Infiniband コネクタを使用	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-ER	10GBASE-ER シリアル 1550 nm 距離拡張、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ (DSF) 注 次の外部フィールド通知 (CSCee47030) で説明されているように、部品番号 800-24557-01 の XENPAK-10GB-ER ユニットのサポートされていません。 <a href="http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/200/fn29736.html">http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/200/fn29736.html</a>	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-ER+	10GBASE-ER シリアル 1550 nm 距離拡張、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ (DSF)	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-LR	10GBASE-LR シリアル 1310 nm 長距離対応、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ (DSF)	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-LR+	10GBASE-LR シリアル 1310 nm 長距離対応、シングルモードファイバ (SMF)、分散シフト型ファイバ (DSF)	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-LW	SMF 用 WAN PHY 搭載 10GBASE-LW XENPAK モジュール 注 XENPAK-10GB-LW は、SONET/SDH OC-192/STM-64 と互換するインターフェイス速度で動作します。データレートが 9 Gbs を超えると、XENPAK-10GB-LW リンクがアップおよびダウンする可能性があります。(CSCsi58211)	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-LX4	10GBASE-LX4 シリアル 1310 nm マルチモード (MMF)	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-SR	10GBASE-SR シリアル 850 nm 短距離マルチモード (MMF)	15.0(1)SY
XENPAK-10GB-ZR	任意の SMF タイプ用 10GBASE	15.0(1)SY

## Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール

- [ギガビットイーサネット SFP \(39 ページ\)](#)
- [ファストイーサネット SFP \(42 ページ\)](#)

### ギガビットイーサネット SFP



注

- 低密度波長分割多重 (CWDM) SFP の詳細については、Cisco CWDM GBIC および SFP ソリューションのデータシートを参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/cwdm-transceiver-modules/product\\_data\\_sheet09186a00801a557c.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/cwdm-transceiver-modules/product_data_sheet09186a00801a557c.html)
- DWDM SFP の詳細については、CISCO CWDM GBIC および SFP ソリューションのデータシートを参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/dwdm-transceiver-modules/product\\_data\\_sheet0900aecd80582763.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/dwdm-transceiver-modules/product_data_sheet0900aecd80582763.html)
- サポートされていない DWDM-SFP については、「サポートされていないハードウェア」セクション (49 ページ) を参照してください。
- その他の SFP の詳細については、ギガビットイーサネットアプリケーション用 Cisco SFP 光モジュールのデータシートを参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/gigabit-ethernet-gbic-sfp-modules/product\\_data\\_sheet0900aecd8033f885.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/gigabit-ethernet-gbic-sfp-modules/product_data_sheet0900aecd8033f885.html)

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>GLC-EX-SMD &amp;</b>	SMF 用 1000BASE-EX SFP トランシーバモジュール、波長 1310 nm、拡張動作温度範囲および DOM サポート、デュアル LC/PC コネクタ	15.2(1)SY
<b>GLC-BX-D</b>	シングルストランド SMF 用 1000BASE-BX10 SFP モジュール、波長 1490 nm TX/1310 nm RX	15.0(1)SY
<b>GLC-BX-U</b>	シングルストランド SMF 用 1000BASE-BX10 SF モジュール、波長 1310 nm TX/1490 nm RX	15.0(1)SY
<b>GLC-LH-SMD</b> <b>GLC-LH-SM</b>	1000BASE-LX/LH SFP 注 リリース 15.1(1)SY1 以降のリリースでは、WS-X6904-40G-2T でサポートされます。	15.0(1)SY
<b>GLC-SX-MMD</b> <b>GLC-SX-MM</b>	1000BASE-SX SFP 注 リリース 15.1(1)SY1 以降のリリースでは、WS-X6904-40G-2T でサポートされます。	15.0(1)SY

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>GLC-T</b>	1000BASE-T 10/100/1000 SFP モジュール 注 <ul style="list-style-type: none"><li>WS-X6904-40G-2T LC の場合、1000 Mbps でのみサポートされます。</li><li>リリース 15.1(1)SY1 以降のリリースでは、WS-X6904-40G-2T でサポートされます。</li></ul>	15.0(1)SY
<b>GLC-ZX-SM</b> <b>GLC-ZX-SMD</b>	1000BASE-ZX SFP モジュール SMF 用 1000BASE-ZX SFP トランシーバモジュール、波長 1550 nm、デュアル LC/PC コネクタ	15.0(1)SY
<b>CWDM-SFP-1470</b>	CWDM 1470 nm (グレー) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>CWDM-SFP-1490</b>	CWDM 1490 nm (バイオレット) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>CWDM-SFP-1510</b>	CWDM 1510 nm (青) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>CWDM-SFP-1530</b>	CWDM 1530 nm (緑) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>CWDM-SFP-1550</b>	CWDM 1550 nm (黄) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>CWDM-SFP-1570</b>	CWDM 1570 nm (オレンジ) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>CWDM-SFP-1590</b>	CWDM 1590 nm (赤) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>CWDM-SFP-1610</b>	CWDM 1610 nm (茶) ギガビットイーサネット、1 および 2 Gb ファイバチャネル SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>DWDM-SFP-5817</b>	1000BASE-DWDM 1558.17 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>DWDM-SFP-5252</b>	1000BASE-DWDM 1552.52 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>DWDM-SFP-5172</b>	1000BASE-DWDM 1551.72 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>DWDM-SFP-5012</b>	1000BASE-DWDM 1550.12 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>DWDM-SFP-4692</b>	1000BASE-DWDM 1546.92 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>DWDM-SFP-4373</b>	1000BASE-DWDM 1543.73 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>DWDM-SFP-4214</b>	1000BASE-DWDM 1542.14 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
<b>DWDM-SFP-3977</b>	1000BASE-DWDM 1539.77 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
DWDM-SFP-3898	1000BASE-DWDM 1538.98 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-3582	1000BASE-DWDM 1535.82 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-3504	1000BASE-DWDM 1535.04 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-6061	1000BASE-DWDM 1560.61 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-5979	1000BASE-DWDM 1559.79 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-5898	1000BASE-DWDM 1558.98 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-5655	1000BASE-DWDM 1556.55 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-5575	1000BASE-DWDM 1555.75 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-5494	1000BASE-DWDM 1554.94 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-5413	1000BASE-DWDM 1554.13 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-5092	1000BASE-DWDM 1550.92 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-4851	1000BASE-DWDM 1548.51 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-4772	1000BASE-DWDM 1547.72 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-4612	1000BASE-DWDM 1546.12 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-4453	1000BASE-DWDM 1544.53 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-4294	1000BASE-DWDM 1542.94 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-4056	1000BASE-DWDM 1540.56 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-3819	1000BASE-DWDM 1538.19 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-3661	1000BASE-DWDM 1536.61 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-3425	1000BASE-DWDM 1534.25 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-3268	1000BASE-DWDM 1532.68 nm SFP(100-GHz ITU グリッド)SFP モジュール	15.0(1)SY

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
DWDM-SFP-3190	100BASE-DWDM 1531.90 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-3112	100BASE-DWDM 1531.12 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY
DWDM-SFP-3033	100BASE-DWDM 1530.33 nm SFP (100-GHz ITU グリッド) SFP モジュール	15.0(1)SY

## ファストイーサネット SFP



注

- ファストイーサネット SFP の詳細については、Cisco 100BASE-X SFP For Fast Ethernet SFP ポートのデータシートを参照してください。  
[http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/fast-ethernet-sfp-modules/product\\_data\\_sheet0900aecd801f931c.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/fast-ethernet-sfp-modules/product_data_sheet0900aecd801f931c.html)

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
GLC-FE-100BX-U	100BASE-BX10-U SFP	15.0(1)SY
GLC-FE-100BX-D	100BASE-BX10-D SFP	
GLC-FE-100EX	100BASEEX SFP	
GLC-FE-100ZX	100BASEEX SFP	
GLC-FE-100FX	100BASE-FX SFP	
GLC-FE-100LX	100BASE-LX (SFP)	
GLC-GE-100FX	100BASEEX SFP	

## ギガビットインターフェイス コンバータ (GBIC)



(注)

このセクションに記載されているサポートは、GBIC を使用するすべてのモジュールに適用されます。

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WDM-GBIC-REC	受信専用波長分割多重 (WDM) GBIC	15.0(1)SY
DWDM-GBIC	高密度波長分割多重 (DWDM) GBIC	15.0(1)SY
CWDM-GBIC-1470	Cisco 100BASE-CWDM GBIC、1470 nm (グレー)	15.0(1)SY

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>CWDM-GBIC-1490</b>	Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1490 nm(パイオレット)	15.0(1)SY
<b>CWDM-GBIC-1510</b>	Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1510 nm(青)	15.0(1)SY
<b>CWDM-GBIC-1530</b>	Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1530 nm(緑)	15.0(1)SY
<b>CWDM-GBIC-1550</b>	Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1550 nm(黄)	15.0(1)SY
<b>CWDM-GBIC-1570</b>	Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1570 nm(オレンジ)	15.0(1)SY
<b>CWDM-GBIC-1590</b>	Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1590 nm(赤)	15.0(1)SY
<b>CWDM-GBIC-1610</b>	Cisco 1000BASE-CWDM GBIC、1610 nm(茶)	15.0(1)SY
<b>WS-G5483</b>	1000BASE-T GBIC	15.0(1)SY
<b>WS-G5484</b>	短波長、1000BASE-SX	15.0(1)SY
<b>WS-G5486</b>	長波長/長距離、1000BASE-LX/LH	15.0(1)SY
<b>WS-G5487</b>	超長距離、1000BASE-ZX	15.0(1)SY

## サービスモジュール



注

- 独自のソフトウェアを実行するサービスモジュールの場合、最低限必要なサービスモジュールソフトウェアのバージョンについては、サービスモジュールソフトウェアのリリースノートを参照してください。
- サービスモジュールをサポートするポートチャネルインターフェイスを含めるようにSPANが設定されている場合は、[CSCth03423](#) と [CSCsx46323](#) に注意してください。
- EtherChannel 構成は、一部のサービスモジュールに影響を与える可能性があります。特に、分散型 EtherChannel (DEC) は、サービスモジュールのトラフィックに干渉する可能性があります。詳細については、次の Field Notice を参照してください:

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/field-notices/610/fn61935.html>

- [Application Control Engine \(ACE\) モジュール \(44 ページ\)](#)
- [ASA サービスモジュール \(44 ページ\)](#)
- [Network Analysis Module \(NAM\) \(45 ページ\)](#)
- [Network Analysis Module \(NAM\) \(45 ページ\)](#)
- [Network Analysis Module \(NAM\) \(45 ページ\)](#)
- [Wireless Services Module \(WiSM\) \(45 ページ\)](#)

## Application Control Engine (ACE) モジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
ACE30-MOD-K9	Application Control Engine (ACE) モジュール	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY

- ACE モジュールは独自のソフトウェアを実行します。次のマニュアルを参照してください。  
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/interfaces-modules/ace-application-control-engine-module/tsd-products-support-model-home.html>

最低限必要なサービスモジュールのソフトウェアバージョンについては、ACE モジュールのリリースノートを参照してください。

## ASA サービスモジュール

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-SVC-ASA-SM1-K7	ASA サービスモジュール	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.1(1)SY3
WS-SVC-ASA-SM1-K9	ASA サービスモジュール	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY1

- ASA サービスモジュールを設置する前に、最小のソフトウェアバージョン以上にアップグレードします(「EFSU の互換性」セクション(51 ページ)を参照)。
- ASA モジュールは独自のソフトウェアを実行します。次のマニュアルを参照してください。  
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/interfaces-modules/catalyst-6500-series-7600-series-asa-services-module/tsd-products-support-model-home.html>

最低限必要なサービスモジュールのソフトウェアバージョンについては、モジュールのリリースノートを参照してください。

## Network Analysis Module (NAM)

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>WS-SVC-NAM3-6G-K9</b>	ネットワーク解析モジュール 3	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY1

- WS-SVC-NAM3-6G-K9 を設置する前に、リリース 15.0(1)SY1 以降にアップグレードします(「EFSU の互換性」セクション(51 ページ)を参照)。
- NAM モジュールは独自のソフトウェアを実行します。次のマニュアルを参照してください。
  - <http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-network-analysis-module-software/products-release-notes-list.html>
  - <http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-network-analysis-module-software/tsd-products-support-series-home.html>

最低限必要な NAM ソフトウェアのバージョンについては、ソフトウェアのリリースノートを参照してください。

## Wireless Services Module (WiSM)

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
<b>WS-SVC-WISM2-1-K9</b> <b>WS-SVC-WISM2-3-K9</b> <b>WS-SVC-WISM2-5-K9</b>	ワイヤレス サービス モジュール 2 (WiSM2)	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY

ワイヤレス サービス モジュールは独自のソフトウェアを実行します。次のマニュアルを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/interfaces-modules/services-modules/products-release-notes-list.html>

最低限必要なワイヤレス サービス モジュールのソフトウェアバージョンについては、ワイヤレス サービス モジュール ソフトウェアのリリースノートを参照してください。

## シャーシ

- 13 スロットシャーシ(46 ページ)
- 9 スロットシャーシ(47 ページ)
- 7 スロットシャーシ(48 ページ)
- 6 スロットシャーシ(48 ページ)
- 4 スロットシャーシ(49 ページ)
- 3 スロットシャーシ(49 ページ)



(注) 64 個の MAC アドレスを持つシャーシでは、**拡張システム ID** 機能が自動的にイネーブルになります。この機能は、**spanning-tree extend system-id** コマンドでイネーブルになります。64 個の MAC アドレスをサポートするシャーシでは、**拡張システム ID** をディセーブルにできません。**拡張システム ID** 機能は、**拡張範囲 VLAN** と 64 個の MAC アドレスを持つ両方のシャーシをサポートする必要があるため、すでにネットワークでイネーブルになっている可能性があります。**拡張システム ID** を初めてイネーブルにすると、すべてのアクティブな STP インスタンスのブリッジ ID が更新され、**スパンニングツリートポロジ**が変更される場合があります。



(注) 新しい 40 ギガビットイーサネットスイッチング モジュール C6800-8P40G および C6800-8P40G-XL は、Catalyst 6807-XL でのみサポートされています。

## 13 スロットシャーシ



(注) Supervisor Engine 2T-10GE を使用すると、冗長なスーパーバイザエンジン用に予約されているスロットに次のいずれかのモジュールを装着できます。

- WS-X6148E-GE-45AT
- WS-X6148A-GE-TX

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
CISCO7613-S	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 13 スロット</li> <li>• スロット 7 とスロット 8 は、スーパーバイザエンジン用に予約されています。</li> <li>• 64 個のシャーシの MAC アドレス</li> </ul>	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.1(1)SY
C-6513-E	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 13 スロット</li> <li>• 64 個のシャーシの MAC アドレス</li> </ul>	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.1(1)SY

## 9 スロットシャーシ

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-C6509-V-E	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 9 垂直スロット</li> <li>• 64 個のシャーシの MAC アドレス</li> <li>• 必要な電源装置:               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2,500 W DC 以上</li> <li>- 3,000 W AC 以上</li> </ul> </li> </ul>	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
WS-C6509-E	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 9 水平スロット</li> <li>• シャーシの MAC アドレス:               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2009 年 4 月以前: 1024 個のシャーシの MAC アドレス</li> <li>- 2009 年 4 月以降: 64 個のシャーシの MAC アドレス</li> </ul> </li> </ul> <p>注 64 個の MAC アドレスを持つシャーシでは、<a href="#">拡張システム ID</a> 機能が自動的にイネーブルになります。この機能は、<a href="#">spanning-tree extend system-id</a> コマンドでイネーブルになります。64 個の MAC アドレスをサポートするシャーシでは、拡張システム ID をディセーブルにできません。拡張システム ID 機能は、拡張範囲 VLAN と 64 個の MAC アドレスを持つ両方のシャーシをサポートする必要があるため、すでにネットワークでイネーブルになっている可能性があります。拡張システム ID を初めてイネーブルにすると、すべてのアクティブな STP インスタンスのブリッジ ID が更新され、スパンニングツリートポロジが変更される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2,500 W 以上の電源装置が必要</li> </ul>	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
CISCO7609-S	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 9 垂直スロット</li> <li>• 64 個のシャーシの MAC アドレス</li> <li>• 必要な電源装置:               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2,500 W DC 以上</li> <li>- 3,000 W AC 以上</li> </ul> </li> </ul>	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY1

## 7 スロットシャーシ

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
CATALYST 6807-XL	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 スロット</li> <li>必要な電源装置:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>3,000 W AC (C6800-XL-3KW-AC)</li> </ul> </li> </ul>	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.2(1)SY
	Supervisor Engine 6T で使用	15.3(1)SY

## 6 スロットシャーシ

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-C6506-E	<ul style="list-style-type: none"> <li>6 スロット</li> <li>シャーシの MAC アドレス:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>2009 年 4 月以前:1024 個のシャーシの MAC アドレス</li> <li>2009 年 4 月以降:64 個のシャーシの MAC アドレス</li> </ul> </li> </ul> <p>注 64 個の MAC アドレスを持つシャーシでは、<a href="#">拡張システム ID</a> 機能が自動的にイネーブルになります。この機能は、<a href="#">spanning-tree extend system-id</a> コマンドでイネーブルになります。64 個の MAC アドレスをサポートするシャーシでは、拡張システム ID をディセーブルにできません。拡張システム ID 機能は、拡張範囲 VLAN と 64 個の MAC アドレスを持つ両方のシャーシをサポートする必要があるため、すでにネットワークでイネーブルになっている可能性があります。<a href="#">拡張システム ID</a> を初めてイネーブルにすると、すべてのアクティブな STP インスタンスのブリッジ ID が更新され、スパンニングツリートポロジが変更される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2,500 W 以上の電源装置が必要</li> </ul>	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.0(1)SY
CISCO7606-S	<ul style="list-style-type: none"> <li>6 スロット</li> <li>64 個のシャーシの MAC アドレス</li> </ul>	
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	15.1(1)SY1

## 4 スロットシャーシ

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-C6504-E	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 スロット</li> <li>64 個のシャーシの MAC アドレス</li> </ul>	15.0(1)SY
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	
CISCO7604	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 スロット</li> <li>64 個のシャーシの MAC アドレス</li> </ul>	15.1(1)SY
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	

## 3 スロットシャーシ

製品 ID (スペア用には「=」を付加)	製品の説明	最小 ソフトウェア バージョン
WS-C6503-E	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 スロット</li> <li>64 個のシャーシの MAC アドレス</li> <li>WS-X6904-40G-2T および WS-X6908-10GE は、WS-C6503-E ハードウェアリビジョン 1.3 以降でのみサポートされます。</li> </ul>	15.0(1)SY
	Supervisor Engine 2T-10GE で使用	

## サポートされていないハードウェア

リリース 15.5(1)SY は、「サポート対象ハードウェア」セクション(3 ページ)に記載されているハードウェアのみをサポートします。サポートされていないモジュールが検出された場合、電源はオフのまま、システムの動作には影響しません。

リリース 15.5(1)SY は、次のモジュールをサポートしていません。

- Supervisor Engine 720-10GE および Supervisor Engine 720
- 6880-X シリーズ拡張可能な固定アグリゲーションスイッチ(リリース 15.5(1)SY のみ)
- 6840-X シリーズ固定アグリゲーションスイッチ(リリース 15.5(1)SY のみ)
- WS-SVC-FWM-1-K9
- WS-SVC-IDS2-BUN-K9
- WS-SVC-NAM-1
- WS-SVC-NAM-2
- WS-SVC-NAM-1-250S
- WS-SVC-NAM-2-250S
- WS-X6548-RJ-45

- WS-X6548-RJ-21
- WS-X6348-RJ45V
- WS-X6348-RJ-45
- WS-X6348-RJ21V
- WS-X6196-RJ-21
- WS-X6196-21AF
- WS-X6148X2-RJ-45
- WS-X6148X2-45AF
- WS-X6148-RJ45V
- WS-X6148-RJ-45
- WS-X6148-RJ21V
- WS-X6148-RJ-21
- WS-X6148A-RJ-45
- WS-X6148A-45AF
- WS-X6148-45AF
- WS-X6148-21AF
- WS-X6524-100FX-MM
- WS-X6324-100FX-MM
- WS-X6148-FE-SFP
- WS-X6548V-GE-TX
- WS-X6548-GE-TX
- WS-X6548-GE-45AF
- WS-X6516-GE-TX
- WS-X6148V-GE-TX
- WS-X6148A-GE-45AF
- WS-X6148-GE-TX
- WS-X6148-GE-45AF
- WS-X6816-GBIC
- WS-X6516-GBIC
- WS-X6516A-GBIC
- WS-X6416-GBIC
- WS-X6408-GBIC
- WS-X6408A-GBIC
- WS-X6502-10GE
- WS-F6K-DFC3A
- WS-F6K-DFC3B
- WS-F6K-DFC3BXL
- WS-CAC-2500W

- PWR-950-AC
- WS-C6513

## イメージとフィーチャセット

リリース 15.4SY のイメージとフィーチャセットに関する情報を表示するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。

このリリースには、強力な暗号化イメージが含まれます。強力な暗号化イメージは、米国および各国の輸出、輸入、および使用に関する法律の対象となります。シスコの暗号化ソリューションを受領および使用できるエンドユーザーの国とクラスは制限されています。詳細については、次のマニュアルを参照してください。

[http://www.cisco.com/web/about/doing\\_business/legal/global\\_export\\_trade/general\\_export/contract\\_compliance.html](http://www.cisco.com/web/about/doing_business/legal/global_export_trade/general_export/contract_compliance.html)

## EFSU の互換性

[SX SY EFSU の互換性マトリックス \(XLSX - Microsoft Excel で開く\)](#)

## Cisco IOS の動作の変更

動作の変更は、ソフトウェアリリースで導入される可能性のある小規模な変更を表します。動作の変更が導入されると、既存のドキュメントが更新されます。

### リリース 15.5(1)SY6 での Cisco IOS 動作の変更

- [CSCvc84848](#): IBGP パスが RPKI Valid とマークされる
- [CSCve92382](#): 修正が必要な非表示 CLI「database-mapping」「map-cache」がサポートされていない

### リリース 15.5(1)SY5 での Cisco IOS 動作の変更

なし

### リリース 15.5(1)SY4 での Cisco IOS 動作の変更

なし

### リリース 15.5(1)SY3 での Cisco IOS 動作の変更

- [CSCvk61214](#) – mtrose: PIM デンスモードで非推奨として表示される警告メッセージの変更
- [CSCvm94652](#) – 小さいパケットのパディングが有効になっている場合 STP/BPDU の不整合問題が確認される

### リリース 15.5(1)SY3 より前のリリースでの Cisco IOS 動作の変更

- [CSCve84812](#) – プラットフォームのマルチキャスト転送高速リダイレクトの設定でスイッチがクラッシュする
- [CSCvd09494](#) – SFP10G 2、3、4 のいずれかを削除すると LACK\_CHANNEL エラーが連続して検出される

- [CSCvc97657](#) – 「show issu state detail」の CLI で変更があり、新しいサブ状態を CLI に追加

## リリース 15.5(1)SY11 の新機能

次のセクションでは、2023 年 3 月 21 日におけるリリース 15.5(1)SY11 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY11 の新しいハードウェア機能 \(52 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY11 の新しいソフトウェア機能 \(52 ページ\)](#)

### リリース 15.5(1)SY11 の新しいハードウェア機能

なし

### リリース 15.5(1)SY11 の新しいソフトウェア機能

データのサニタイズ: 単純で非侵襲的なデータリカバリ技術または最先端の実験技術によってデータをリカバリ不能にレンダリングする米国国立標準技術研究所 (NIST) のパージメソッドの使用をサポートします。

## リリース 15.5(1)SY10 の新機能

次のセクションでは、2022 年 9 月 15 日におけるリリース 15.5(1)SY10 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY10 の新しいハードウェア機能 \(52 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY10 の新しいソフトウェア機能 \(52 ページ\)](#)

### リリース 15.5(1)SY10 の新しいハードウェア機能

なし

### リリース 15.5(1)SY10 の新しいソフトウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY9 の新機能

次のセクションでは、2022 年 3 月 17 日におけるリリース 15.5(1)SY9 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY9 の新しいハードウェア機能 \(53 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY9 の新しいソフトウェア機能 \(53 ページ\)](#)

## リリース 15.5(1)SY9 の新しいハードウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY9 の新しいソフトウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY8 の新機能

次のセクションでは、2021年9月18日におけるリリース 15.5(1)SY8 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY8 の新しいハードウェア機能 \(53 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY8 の新しいソフトウェア機能 \(53 ページ\)](#)

## リリース 15.5(1)SY8 の新しいハードウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY8 の新しいソフトウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY7 の新機能

次のセクションでは、2021年3月18日におけるリリース 15.5(1)SY7 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY7 の新しいハードウェア機能 \(53 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY7 の新しいソフトウェア機能 \(53 ページ\)](#)

## リリース 15.5(1)SY7 の新しいハードウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY7 の新しいソフトウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY6 の新機能

次のセクションでは、2020年9月18日におけるリリース 15.5(1)SY6 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY6 の新しいハードウェア機能 \(54 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY6 の新しいソフトウェア機能 \(54 ページ\)](#)

## リリース 15.5(1)SY6 の新しいハードウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY6 の新しいソフトウェア機能

- パスワード強化:
  - Type 5 パスワードを複雑な Type 9 (不可逆的) パスワードに自動変換します。
  - Type 0 および Type 7 パスワードを Type 6 (可逆的) パスワードに自動変換します。



(注)

現在のパスワードタイプをサポートしていないリリースにダウングレードすると、ダウングレードの完了時にデバイスからロックアウトされます。このロックアウトを回避するには、必要なリリースにダウングレードする前に、そのリリースでサポートされているパスワードタイプを設定してください。詳細については [こちら](#) を参照してください。

## リリース 15.5(1)SY5 の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY5 (2020 年 3 月 18 日) の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY5 の新しいハードウェア機能 \(54 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY5 の新しいソフトウェア機能 \(54 ページ\)](#)

## リリース 15.5(1)SY5 の新しいハードウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY5 の新しいソフトウェア機能

- パスワード強化:
  - タイプ 6 および複雑なタイプ 9 のパスワードのサポート。
- IANA 設定を使用した VRF 対応 DHCP オプション 82

## リリース 15.5(1)SY4 の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY4 (2019 年 9 月 12 日) の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY4 の新しいハードウェア機能 \(54 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY4 の新しいソフトウェア機能 \(55 ページ\)](#)

## リリース 15.5(1)SY4 の新しいハードウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY4 の新しいソフトウェア機能

- パスワード強化:
  - タイプ 4 パスワードの廃止。
  - タイプ 0、タイプ 5、およびタイプ 7 のパスワードに関する警告。
- セキュア Field Programmable Gate Array (FPGA) のサポート
- NAT Netflow 使用率を表示する **show plat nat translation statistics** コマンド。
- CISCO-NAT-STAT-MIB のサポート

### セキュア FPGA のサポート

セキュア FPGA は、FPGA シリアルペリフェラルインターフェイス (SPI) フラッシュの Gold リージョンを保護する機能です。FPGA は、FPGA フラッシュの Gold リージョンに対する変更を防止します。Cisco IOS は、最新のセキュア FPGA イメージをバンドルし、FPGA フラッシュの Gold リージョンおよび Upgrade リージョンをこのイメージに自動アップグレードしてこの変更を防止します。リリース 15.5(1)SY4 では、Cisco IOS FPGA 自動アップグレード手順の変更が導入されています。



(注)

Cisco IOS リリース 15.5(1)SY4 にアップグレードする前に、「[Secure Field Programmable Gate Array](#)」と「[Performing FPGA Upgrade](#)」で FPGA 自動アップグレード手順の変更と FPGA アップグレードの実行方法に関する詳細情報を参照してください。

## リリース 15.5(1)SY3 の新機能

次のセクションでは、2020 年 3 月 27 日におけるリリース 15.5(1)SY3 の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY3 の新しいハードウェア機能 \(55 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY3 の新しいソフトウェア機能 \(55 ページ\)](#)

### リリース 15.5(1)SY3 の新しいハードウェア機能

なし

### リリース 15.5(1)SY3 の新しいソフトウェア機能

- IGMP プロキシへの PIM Join のサポート

## リリース 15.5(1)SY2 の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY2 (2018 年 9 月 17 日) の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY2 の新しいハードウェア機能 \(56 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY2 の新しいソフトウェア機能 \(56 ページ\)](#)

## リリース 15.5(1)SY2 の新しいハードウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY2 の新しいソフトウェア機能

- VPLS BGP ベースの自動検出高可用性
- インターフェイス テンプレート ACL のサポート

## リリース 15.5(1)SY1 の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY1(2018 年 3 月 8 日)の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY1 の新しいハードウェア機能\(56 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY1 の新しいソフトウェア機能\(56 ページ\)](#)

## リリース 15.5(1)SY1 の新しいハードウェア機能

なし

## リリース 15.5(1)SY1 の新しいソフトウェア機能

- SDA – フェーズ 1.1
  - L2 オーバーレイ、MAC ベースの EID
  - ブロードキャスト アンダーレイのサポート/リンク ローカル マルチキャスト
  - LISP IPv4 エクストラネット
  - SDA ファブリックを使用した出力 WCCP のサポート
- VRF 経由の PnP
- 単一シャーシ VSS
- URL リダイレクトプライオリティの拡張
- OpenFlow
- 自動インストール/ZTP
- PKI OCSP

## リリース 15.5(1)SY の新機能

次のセクションでは、リリース 15.5(1)SY(2017 年 5 月 22 日)の新機能を説明します。

- [リリース 15.5\(1\)SY の新しいハードウェア機能\(57 ページ\)](#)
- [リリース 15.5\(1\)SY の新しいソフトウェア機能\(57 ページ\)](#)

## リリース **15.5(1)SY** の新しいハードウェア機能

- C6800-8P40G
- C6800-8P40G-XL

## リリース **15.5(1)SY** の新しいソフトウェア機能

なし

## 以前のリリースからのソフトウェア機能

以前のリリースで導入されたサポート対象の機能を表示するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。

## サポートされていない機能

次の機能はサポートされていません。

- MACsec Key Agreement (MKA)
- Smart Install
- Data Link Switching (DLSw)
- シリアルトンネル (STUN)
- Bisync Serial Tunnel (BSTUN)
- Airline Product Set (ALPS)
- ソースルートブリッジ (SRB)
- Source-Route Translational Bridge (SRTLb)
- Remote Source-Route Bridging (RSRB)
- SNA Switching Services (SNASw)
- DownStream Physical Unit (DSPU)
- 論理リンク制御 (LLC)
- Cisco Link Services (CLS)
- Qualified Logical Link Control (QLLC)
- トークンリングスイッチング
- 非同期 POS (APOS)
- Bisync IP (BiP)

## リリース **15.5(1)SY11** の制約事項

なし

## リリース 15.5(1)SY10 の制約事項

なし

## リリース 15.5(1)SY9 の制約事項

なし

## リリース 15.5(1)SY8 の制約事項

なし

## リリース 15.5(1)SY7 の制約事項

なし

## リリース 15.5(1)SY6 の制約事項

なし

## リリース 15.5(1)SY5 の制約事項

なし

## リリース 15.5(1)SY4 の制約事項

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvp49126</a>	cat6000: acl	スタティック NAT エントリが「clear plat flow ip」の後に更新されない
<a href="#">CSCvr07662</a>	cat6000: acl	DAI 機能が DHCP スヌーピング機能と競合する
<a href="#">CSCvq03487</a>	cat6000: acl	フローエントリのタイムアウト後にダイナミック NAT エントリ数がクリアされない

## リリース 15.5(1)SY3 の制約事項

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvp49120</a>	accsw-ease-of-use	vstack とそれに関連する CLI が有効になっている C6k では、15.5(1)SY3 への ISSU アップグレードが失敗する

## リリース 15.5(1)SY2 の制約事項

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvi62529</a>	cat6000-routing	SSO および stdbyp SUP の起動後に STDBY SUP の L2 トラフィックの入力/出力がダウンする

## リリース 15.5(1)SY1 の制約事項

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvi28828</a>	nat	IP アドレスが重複する場合、ルートマップを使用したスタティック NAT よりもダイナミック NAT が優先される。
<a href="#">CSCvf91588</a>		DNA-SA: リモート MAC が、優先順位の高い RLOC のシャットダウン時に l2fib で無効になる
<a href="#">CSCvf90572</a>	lisp	L2 マップキャッシュエントリでは、リモートピアのリロード時にリモート MAC EID の学習に 52 秒かかる
<a href="#">CSCvf94336</a>	sisf	MAC は「show device-tracking database Mac」でのトラフィックフローの 5 分後に到達不能として表示される
<a href="#">CSCvg87913</a>	pnpa	Cat6K-PnP: Cisco Cloud Discovery は cat6K vrf 管理インターフェイスではサポートされない
<a href="#">CSCvf50885</a>	autoinstall	Cat6K-PnP: tftp://255.255.255.255/ciscotr.cfg を開くときの%エラー

## リリース 15.5(1)SY の制約事項

- C6800-8P40G カードは 40 G モードでのみ動作できます。
- ハードウェアバージョン 2.1 以降の以下に示すラインカードには、新しいハードウェアコンポーネントが搭載されており、新しい ROMMON イメージバージョン 15.2(1r)SYL3 が付属しています。

PID	ハードウェアバージョン	IOS リリース	制限事項
C6800-32P10G-XL C6800-32P10G C6800-16P10G-XL C6800-16P10G C6800-8P10G-XL C6800-8P10G	2.1 以降	IOS バージョン 15.2(1)SY4 以降、 15.4(01)SY02 以降、 15.5(1)SY 以降	なし
		15.2(1)SY4、 15.4(01)SY02、 15.5(1)SY よりも前の IOS バージョン	ラインカードは、オンボード障害ロギング (OBFL) 機能がなくても動作し続けます。OBFL を機能させるには、サポートされている IOS へのアップグレードが必要です。
	2.1 よりも前	IOS バージョン 15.2(1)SY4 以降、 15.4(01)SY02 以降、 15.5(1)SY 以降	なし
		15.2(1)SY4、 15.4(01)SY02、 15.5(1)SY よりも前の IOS バージョン	なし

- ハードウェアバージョン 2.2 以降の以下に示すラインカードには、新しいハードウェアコンポーネントが搭載されており、新しい ROMMON イメージバージョン 15.2(02r)SYL3 が付属しています。

PID	ハードウェアバージョン	IOS リリース	制限事項
C6800-X-16P10G C6800-X-LE-16P10G	2.2 以降	IOS バージョン 15.2(1)SY4 以降、 15.4(01)SY02 以降、 15.5(1)SY 以降	なし
		15.2(1)SY4、 15.4(01)SY02、 15.5(1)SY よりも前 の IOS バージョン	ラインカードは、オンボード障害ロギング (OBFL) 機能がなくても動作し続けます。OBFL を機能させるには、サポートされている IOS へのアップグレードが必要です。
	2.2 より前	IOS バージョン 15.2(1)SY4 以降、 15.4(01)SY02 以降、 15.5(1)SY 以降	なし
		15.2(1)SY4、 15.4(01)SY02、 15.5(1)SY よりも前 の IOS バージョン	なし

## リリース 15.5(1)SY11 の不具合

### リリース 15.5(1)SY11 の未解決の不具合

なし

### リリース 15.5(1)SY11 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvy45135</a>	polaris-aaa	Message-Authenticator 属性が間違っているため、ISE への RADIUS 要求がドロップされた

## リリース 15.5(1)SY10 の不具合

### リリース 15.5(1)SY10 の未解決の不具合

なし

## リリース 15.5(1)SY10 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCwb12806</a>	cat6000-ipc	ip helper-address を送信元として使用する着信 DHCP パケットを処理しているときに、Cat6800 sup 2T でクラッシュする
<a href="#">CSCwc49173</a>	cat6000-l2	LC のリセット中に CTS セッションを閉じると、SCP メッセージに時間がかかる

## リリース 15.5(1)SY9 の不具合

### リリース 15.5(1)SY9 の未解決の不具合

なし

### リリース 15.5(1)SY9 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvz39074</a>	cat6000-hw-fwding	Cat6K: OSPF FRR ELIF が隣接関係テーブルでスタックする
<a href="#">CSCwa56283</a>	cat6000-firmware	Sup6T/6880-X: VLAN 番号の破損により、破損したコントロールプレーンパケット (udld、lacp、stp) が表示される

## リリース 15.5(1)SY8 の不具合

### リリース 15.5(1)SY8 の未解決の不具合

なし

### リリース 15.5(1)SY8 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvx46955</a>	l2vpn	L2VPN 0.0.0.0/96 エントリの問題
<a href="#">CSCvx58135</a>	cat6000-l2-infra	C6880: ポートで flowcontrol send 設定を削除できない
<a href="#">CSCvx37374</a>	cat6000-env	Cat6K Sup6T: 40G インターフェイスで ARP パケットをドロップする

CSCvz20517	cat6000-netflow	pnp startup-vlan<vlan> の設定で NDE_0 インターフェイスがトリガーされ、show cdp interface で up/up 状態になる
------------	-----------------	--

## リリース 15.5(1)SY7 の不具合

### リリース 15.5(1)SY7 の未解決の不具合

なし

### リリース 15.5(1)SY7 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
CSCvv01053	cat6000-ha	C6509-E/Sup2T:SW1 の起動後に VSS 固有のトラフィックがダウンする
CSCvv18136	mfib	SVI で PIM 機能を有効にできない
CSCvv65437	pnpa	Cat6k: スイッチポート設定後に CDP TLV で pnp startup vlan がアダバタイズされない
CSCvv92364	cat6000-hw-fwding	「CM INTR タスク」の保持メモリ増加に伴って CPU が高くなる。
CSCvv93342	mcast-fib	マルチキャストによるメモリ破損が原因で、ラインカードがクラッシュする
CSCvw12603	mcast-pim	155-1.SY4 へのアップグレード後、PIM アサートの生成時に MFIB_IPC および IPC NOBLOCK エラーログが出力される
CSCvw45714	aaa	秘密が、ハッシュアルゴリズム設定を使用した TACACS+ コマンドアカウンティング/認証を介してクリアテキスト形式で送信される
CSCvw57370	cat6000-routing	Cat6K: OSPF IP FRR が設定されている場合、ARP の隣接関係が HW CEF で MPLS エントリとしてプログラムされる
CSCvw70243	cat6000-l2	shut/no-shut 後に min-links を使用したポートチャネルがフラップする。

## リリース 15.5(1)SY6 の不具合

### リリース 15.5(1)SY6 の未解決の不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvv65993</a>	config-sync	Cat6500 SUP2T:5 番目のスロットで slavebootdisk のフォーマットに失敗する

### リリース 15.5(1)SY6 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvt08994</a>	cts	無効な SGT の CTS イーグレスポリシーを -1 または ANY として処理しているときに、スイッチがクラッシュするか、CPU 使用率が高くなる
<a href="#">CSCvr82708</a>	sisf	ISSU 経由でアップグレードするとデバイスがクラッシュする
<a href="#">CSCvs53186</a>	cat6000-dot1x	15.5(1)SY3 の 6807-XL スイッチで SISF がクラッシュする
<a href="#">CSCvt21717</a>	cat6000-acl-fwding	「IP マルチキャスト境界」で未定義の ACL がトラフィックを CPU にパントする
<a href="#">CSCvt26023</a>	parser	term shell を使用すると、Cat6800 がクラッシュする
<a href="#">CSCvt96939</a>	cat6000-hw-fwding	SVI の VPLS 使用例で使用した 1 つ以上の EARL に HSRP VMAC がない
<a href="#">CSCvu12905</a>	cat6000-l2-mcast	Cat6k Sup2T:DHCPv6 制御パケットを VPLS 回線を介して転送すると MLD によってスヌーピングされる

## リリース 15.5(1)SY5 の不具合

### リリース 15.5(1)SY5 の未解決の不具合

なし

## リリース 15.5(1)SY5 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
CSCvg45950	sap	cts インターフェイス経由で 40 G トラフィックが送信されると、パケットのドロップが断続的に発生する
CSCvi48253	pki	自己署名証明書は 2020 年 1 月 1 日 00:00 (UTC) に期限が切れ、その後作成できない
CSCvj47973	cat6000-hw-fwding	コントロールプレーン インターフェイスに UP ステータスが表示されない
CSCvq97772	cat6000: acl	DHCP スヌーピングが有効になっているトンネルインターフェイスで DHCP オファーを処理すると、スイッチがクラッシュする場合があります
CSCvr02688	aaa	「login block-for」および「login quiet-mode access-class」の再構成後にリロードする
CSCvr04928	cat6000-span	6800 Sup 6T VSS の ERSPAN 宛先では、パケットが宛て先ポートに複製されない
CSCvr06927	flexible-netflow	「show flow monitor x cache format table」を実行した後に CPUHOG エラーが発生し、LC がクラッシュする
CSCvr23401	cat6000-cts	C6K スイッチではプロキシにデバイス SGT を追加すると、エンドホストの送信元 IP を維持したまま、IGMP 脱退メッセージが生成される
CSCvr37717	mcast-pim	PIM プロセスによりクラッシュが発生する
CSCvr51938	cat6000: acl	DHCP パケット検証でクラッシュが発生する
CSCvr83942	cat6000: acl	スタンバイでの ROMMON/ソフトウェアバージョンのアップグレード中に、アクティブスイッチが dhcp プロセスでクラッシュする

## リリース 15.5(1)SY4 の不具合

## リリース 15.5(1)SY4 の未解決の不具合

識別子	コンポーネント	説明
CSCvq89131	cat6000-ha	ISSU - SUP2T-HA - LV での FIB XDR クライアントエラー
CSCvq90646	cat6000: acl	外部から内部への NAT トラフィックは ISSU 中にドロップされる

## リリース 15.5(1)SY4 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
CSCuv90519	ipsec-core	トンネルの送信元アドレスの変更後に IKEv2 セッションが起動しない
CSCvb89928	parser	3 メンバスタックのリロード中に mips64_linux_iosd_ngwc コアで Cat3850 がクラッシュする
CSCvd04425	cdp	c6500 は CDP トリガーに反応しない
CSCve63165	ssh	ASR903 RSP1 は ssh_buffer_append、ssh2_packet_start でクラッシュする
CSCvf33000	snmp	SNMP ACL が設定されている場合、「unknownSnmpEngineID」の SNMP レポートをブロックする CLI コマンドを追加する
CSCvh55744	ssh	SSH パスワードの長さは 25 文字に制限される

CSCvh61330	ssh	3650:TTY バックグラウンドプロセスにより CPU 使用率が高くなる
CSCvj85568	XDR	XDR が無効になっているログは、より高いシビラティ(重大度)で印刷される必要がある
CSCvk56331	ipsec-core	IKEv1 フェーズ 2 キー再生成(QM1)の初回コンタクトにより、すべての暗号セッションがドロップされる
CSCvm73100	cat6000: acl	cat6880x:heaps_process メモリ破損のチェックが原因でクラッシュする
CSCvn98904	sap	構成に AES 暗号化および macsec(CTS)が含まれている場合、スタンバイは VSS で継続的にリロードされる
CSCvo35441	cat6000-env	Cat6832 VSS では show tech で「Standby console disabled」が表示される
CSCvo40575	ribinfra	ルートマップを含む Distribute-list では、すべての OSPF IPv6 ルートがブロックされる
CSCvo58195	ip	HSRP VIP はローカルで到達できない
CSCvo90231	bgp	BGP を使用した show alignment の出力にスプリアアクセスが表示される
CSCvp26761	cat6000-snmp	pethPsePortOnOffNotification トラップは無効にしても存在する
CSCvp39459	cat6000-mcast	cat6k ipv6 mld スヌーピングの explicit-tracking エージングカウンタエラー
CSCvp68962	cat6000-diag	クアドスーパーバイザを使用する C6807-XL VSS でモジュール/スロット 3 にマイナーエラーが示される
CSCvp70362	cat6000-routing	フルシャーシのリロード後に、直接接続の ping が失敗する
CSCvp71334	sisf	XTR でトレースバックが表示される
CSCvq09071	cat6000-mps	MPLS コアの ECMP は、「ip cef accounting non-recursive」を設定すると破損する
CSCvq25824	cat6000: acl	SUP2T:デバイストラッキングが原因で SVI を削除できない
CSCvq73364	mcast-fib	mVPN:マルチキャストパケットがドロップされ、「%MFIB-SW2-3-MFIB_CTXT_DEPTH_EXCEEDED」が連続して出力される

## リリース 15.5(1)SY3 の不具合

### リリース 15.5(1)SY3 の未解決の不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvo35441</a>	cat6000-env	Cat6832 VSS では show tech で「Standby console disabled」が表示される
<a href="#">CSCvo69942</a>	cat6000-12	TCN 後の MAC テーブルのフラッシュでの sup6t // mst // 遅延
<a href="#">CSCvo82251</a>	cat6000-12	sup6t を使用する C6807 が起動するときに、ポートチャネルのコンバージェンス前に STP アクションが完了する

### リリース 15.5(1)SY3 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvi86071</a>	parser	アーカイブで SCP パスを設定した後にクラッシュが発生する
<a href="#">CSCvk73350</a>	polaris-aaa	デフォルトの暗号化タイプが username <> secret のタイプ 9 に変更される
<a href="#">CSCvf84349</a>	eigrp	cEigrpPeerEntry のポーリング時にルータがクラッシュする
<a href="#">CSCvi55399</a>	cat6000-12-mcast	FIB スペースの制限に達し、一部の IPv6 マルチキャストルートがハードウェアテーブルに存在しなくなる場合がある
<a href="#">CSCvk29155</a>	mcast-fib	マルチキャストメモリ オーバーレイ ラインカードがクラッシュする
<a href="#">CSCvm12991</a>	cat6k-vs-infra	eFSU/ISSU および Standby Sup のリロード後に、Sup6T - VSDA リンクが up/down 状態に移行する
<a href="#">CSCvm15692</a>	cat6000-dot1x	dot1x 認証に失敗した場合、EPM で Sup2T がクラッシュする
<a href="#">CSCvm37443</a>	cat6000-diag	Ginband での Rx ドロップにより、すべてのポートで Cat6K- C68xx/sup6T/ TestNonDisruptiveLoopback が失敗する
<a href="#">CSCvm61500</a>	mcast-vpn	MDT のデフォルトしきい値を超えたときに、mroute が MDT データにスイッチングされない
<a href="#">CSCvm69018</a>	lisp	lispMIB のポーリング時または SNMP-walk 中にクラッシュする
<a href="#">CSCvm94652</a>	cat6000-hw-fwding	小さいパケットのパディングが有効になっている場合 STP/BPDU の不整合の問題を監視する
<a href="#">CSCvm94759</a>	cat6000-firmware	stdby-sup から Sup6t の 40 G VSL を通過する CAP1 トラフィックは、RBH FLTR によりポート #10 で重複する
<a href="#">CSCvn04334</a>	mcast-fib	ラインカードから mfib 統計を読み取るときに Cat6k がクラッシュする
<a href="#">CSCvn05254</a>	mcast-fib	スイッチオーバー中、トラフィックは MDT デフォルトから MDT データにスイッチされない
<a href="#">CSCvn07597</a>	cat6000-fabric	Sup6t を通過するパケットフローでは、FPOE の誤ったプログラミングによって、一定のサイレント損失が発生する場合がある
<a href="#">CSCvn25014</a>	bgp	BGP c-mroutes の C シグナリングを使用して mVPN オーバーレイのサポートを追加する
<a href="#">CSCvn28983</a>	cat6000-hw-fwding	C6800-32P10G-XL - ルータ MAC が DFC の EARL2 に存在しない
<a href="#">CSCvn38590</a>	polaris-cts	ACE の欠落または不完全エラーにより、CTS ポリシーのダウンロードが失敗する
<a href="#">CSCvn38893</a>	cat6000-hw-fwding	Cat68k CEF 隣接関係テーブルが枯渇する

<a href="#">CSCvn49823</a>	cat6000-snmp	OID SmonVlanIdStatsTable のポーリング時に SNMP によりウォッチドッグがクラッシュする
<a href="#">CSCvn55765</a>	cat6000-l2-mcast	%UTIL-3-TREE:cat6k のデータ構造エラー
<a href="#">CSCvn72973</a>	polaris-cts	デバイスが「cts role-based enforcement」でクラッシュする
<a href="#">CSCvo05604</a>	cat6000-dot1x	ISE サービステンプレート処理でクラッシュする
<a href="#">CSCvo46820</a>	cat6k-vs-infra	一部の VSL は「probe_wait」状態になり、SUP ではスイッチオーバー後に「軽微なエラー」が発生する

## リリース 15.5(1)SY2 の不具合

### リリース 15.5(1)SY2 の未解決の不具合

識別子	コンポーネント	説明
CSCvm01965	cat6000-span	ERSPAN TX のみパケットを受信せず、RX のみ TX パケットと RX パケットの両方を受信する

### リリース 15.5(1)SY2 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
CSCvj04264	cat6000-l2	ストーム制御の設定が物理インターフェイスに伝搬されない
CSCvj33085	cat6000-fabric	read sw カウンタでスイッチがクラッシュする
CSCuy25398	cat6000-firmware	ポートステータスの変更後に、6880x がクラッシュする
CSCvb69966	ethernet-lldp	LLDP プロトコルプロセスでのメモリリーク
CSCvi10935	cat6000-firmware	Sup2T/6T- CTS 対応インターフェイスが、トレースバックで断続的にダウンする - 15.3(1)SY2
CSCvi74405	cat6k-vs-infra	Sup2T ベースの 6ks または 6880 スイッチのポートは、ソフトウェアアップグレード後もダウンしたままになる場合がある
CSCvj22514	IP:ACL	IPV6 リンクローカルアドレスでは Telnet/ssh が拒否される
CSCvj28680	cat6000-ltl	VSS 40gig リンクで DHCP Discover と DHCP Request がランダムに重複する
CSCvk10393	cat6000-dot1x	clear mac stale-static address でクラッシュする
CSCvk68167	cat6000-mcast	インターフェイスのバウンス時にメモリの破損が発生する
CSCvh22593	cat6000-l2-mcast	MLD スヌーピングの EHT 制限が適用されない
CSCvi20960	accsw-fex	6800 のコンソールでの CDP パケットダンプ
CSCvi57667	cat6000	SUP2T から ASA モジュールをセッション化できない
CSCvi90601	cat6000-hw-fwding	Cat6500:cfc が設置されたモジュールは、リモートコマンド mod 3 show platform hardware earl statistics でリセットされる
CSCvj02398	cat6000-l2	ポートチャネルのストーム制御設定が不整合
CSCvj11676	cat6000-l2-mcast	PIM プロセスで生じたウォッチドッグにより、6513/ VS-SUP2T-10G がクラッシュする
CSCvk28411	cat6000-firmware	10 GB SFP および QSFP は、show interface status で「no connector」と表示される
CSCvk37681	sisf	「no interface port-channel」コマンド後に C6807-XL-S2T-BUN がクラッシュする
CSCvh22583	cat6000-l2-mcast	時間が経過したエントリを失効させる EHT Ager が実装される
CSCvk54610	cat6000-routing	SVI の静的 MAC アドレスエントリが、SVI が削除された場合でも存在する
CSCvm27795	cat6000-mpls	「ip cef accounting non-recursive」が有効になっている 6500 で MPLS ラベルが誤って設定される
CSCvj29126	aaa	デバイスに有効な PAC がある場合でも、ネットワーク上の RADIUS クライアントは CTS から PAC キーを要求できない
CSCvi99432	cat6000-hw-fwding	CAT6:VMAC が重複しているため、一時的な状態にある Earl から HSRP の静的 RMAC/VMAC が削除される

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvh66758</a>	flexible-netflow	FNF による大容量バッファの枯渇
<a href="#">CSCvj78871</a>	cat6000-l2fib	ISSU_ERROR-SW1-3-MSG_MTU:ISSU L3 Manager Client(6022):クライアントはメッセージ 12 の MTU を取得できない
<a href="#">CSCvk73821</a>	cat6000 cm	リロード、SSO および ACL の変更後に ACL スケールのセットアップで「CM main thrd」含む CPUHOG が示される

## リリース 15.5(1)SY1 の不具合

### リリース 15.5(1)SY1 の未解決の不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCve22732</a>	cat6000-diag	TestL3TcamMonitoring が、1/1 の 1G トランシーバを使用する T2 および IPv4/IPv6 ルートに沿ったトラフィックで失敗する
<a href="#">CSCvi33424</a>	cat6000-docs	15.5(1)SY から 15.5(1)SY1 イメージへの ISSU を実行する前にすべての LISP/SDA 設定が削除される

### リリース 15.5(1)SY1 で解決済みの不具合

識別子	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCvc98461</a>	cat6000-acl	IPv6 ND rguard ポリシーにより dhcp スヌーピングが中断する
<a href="#">CSCvf56977</a>	cat6000-acl	dACL の ACL TCAM で ACL エントリが重複する
<a href="#">CSCvf39985</a>	cat6000-firmware	サードパーティ製スイッチで 6880X アップリンクがダウンしたままになる
<a href="#">CSCvf61464</a>	cat6000-firmware	連続リロード時にサードパーティ製スイッチで 6880X アップリンクがダウンしたままになる
<a href="#">CSCvd65374</a>	cat6000-hw-fwding	CDP ネイバーは、サブインターフェイスの maximum-vlan vlan-id を default から any に変更すると非表示になる
<a href="#">CSCvc49765</a>	cat6000-l2-mcast	VPLS 回線を通過するときに、6500//SUP2T マルチキャストストリームがドロップされる
<a href="#">CSCvf34391</a>	cat6000-l2-mcast	トレースバック: MCVPLS で Quadsup-ICS にメモリが保持される
<a href="#">CSCvf35279</a>	cat6000-ltl	ポートで OIR を実行中に quadsup Sup2t について UDLD err-disabled が発生する
<a href="#">CSCve33442</a>	cat6000-mpls	ルーテッド VPLS: ダイレクト DHCP クライアントは、L3VPN を介して到達可能な DHCP サーバーから IP を取得できない
<a href="#">CSCve27925</a>	cat6000-mcast	ポート削除のコールバックが欠落しているため、LTL は PNDG 状態のままになる
<a href="#">CSCve84812</a>	cat6000-mcast	プラットフォームのマルチキャスト転送高速リダイレクトの設定でスイッチがクラッシュする
<a href="#">CSCvf53685</a>	cat6000-mcast	仮想インターフェイスから VLAN を削除した後に Catalyst 6840-X がクラッシュする
<a href="#">CSCvf24298</a>	cat6000-netflow	FNF を使用してトンネルを再設定するときに shared_label でクラッシュが発生する
<a href="#">CSCvf48113</a>	cat6000-qos	6716/6816 wr-queue コマンドがポートグループメンバーと正しく同期されない
<a href="#">CSCvc59675</a>	cat6k-vs-infra	マルチキャストトラフィックがハードウェアとソフトウェアの両方で同時にスイッチングされる
<a href="#">CSCvh92805</a>	fib	Crash@show_cef_broker_command(0x4d3cf00)+0x4e
<a href="#">CSCvd35137</a>	cat6000-env	Sup6T でネストされたクラッシュが発生し、スイッチが再起動せずにハングする可能性がある
<a href="#">CSCvd83170</a>	cat6000-hw-fwding	6500sup2t VSS: VPLS を介して学習された MAC アドレスは早期にタイムアウトする

識別子	コンポーネント	説明
CSCvd65374	cat6000-hw-fwding	CDP ネイバーは、サブインターフェイスの maximum-vlan vlan-id を default から any に変更すると非表示になる
CSCuz63959	cat6000-firmware	GLC-LH-SMD はリンクアップできない
CSCvb94345	cat6000-firmware	TestL3TcamMonitoring が失敗したため、SUP がクラッシュする
CSCvd07970	cat6000-l2-infra	6880「flowcontorl send off」コマンドが show run から消える
CSCvc49765	cat6000-l2-mcast	VPLS 回線を通過するときに、6500//SUP2T マルチキャストストリームがドロップされる
CSCvc59675	cat6k-vs-infra	マルチキャストトラフィックがハードウェアとソフトウェアの両方で同時にスイッチングされる
CSCvd46498	ip	ARP と CEF の間の不一致により、Cat6K のパケットドロップが断続的に発生する
CSCsq42459	os	CPU しきい値の低下に関するログメッセージがない
CSCvd35070	tcl-bleeding	すべての TTY が使用されている場合に TCLSH を使用してスクリプトを実行すると、クラッシュする

## リリース 15.5(1)SY の不具合

### リリース 15.5(1)SY の未解決の不具合

識別子	コンポーネント	説明
CSCvd35137	cat6000-env	Sup6T でネストされたクラッシュが発生し、スイッチが再起動せずにハングする可能性がある
CSCvd83170	cat6000-hw-fwding	6500sup2t VSS:VPLS を介して学習された MAC アドレスは早期にタイムアウトする
CSCvd65374	cat6000-hw-fwding	CDP ネイバーは、サブインターフェイスの maximum-vlan vlan-id を default から any に変更すると非表示になる
CSCuz63959	cat6000-firmware	GLC-LH-SMD はリンクアップできない
CSCvb94345	cat6000-firmware	TestL3TcamMonitoring が失敗したため、SUP がクラッシュする
CSCvd07970	cat6000-l2-infra	6880「flowcontorl send off」コマンドが show run から消える
CSCvc49765	cat6000-l2-mcast	VPLS 回線を通過するときに、6500//SUP2T マルチキャストストリームがドロップされる
CSCvc59675	cat6k-vs-infra	マルチキャストトラフィックがハードウェアとソフトウェアの両方で同時にスイッチングされる
CSCvd46498	ip	ARP と CEF の間の不一致により、Cat6K のパケットドロップが断続的に発生する
CSCsq42459	os	CPU しきい値の低下に関するログメッセージがない
CSCvd35070	tcl-bleeding	すべての TTY が使用されている場合に TCLSH を使用してスクリプトを実行すると、クラッシュする

## トラブルシューティング

ここでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチの設定に関するトラブルシューティングについて取り上げます。

- システムのトラブルシューティング (73 ページ)
- モジュールのトラブルシューティング (73 ページ)
- その他のトラブルシューティング情報 (73 ページ)

## システムのトラブルシューティング

ここでは、システム レベルの問題のトラブルシューティングについて取り上げます。

- システムが起動しパワーオン診断を実行するときは、スイッチをリセットしないでください。
- アクティブなスーパーバイザエンジンから冗長なスーパーバイザエンジンへのスイッチオーバーを開始した後、または動作中のスイッチに冗長なスーパーバイザエンジンをインサートした場合は常に、スーパーバイザエンジンが同期して、すべてのモジュールがオンラインになるまで待機してから、モジュールまたはスーパーバイザエンジンの取り外しや取り付けまたは別のスイッチオーバーを実行します。
- 速度が **auto** に設定されているインターフェイスが、速度が固定値に設定されている別のインターフェイスに接続されている場合は、速度が半二重の固定値に設定されているインターフェイスを設定します。または、両方のインターフェイスを固定値の速度と全二重に設定することもできます。

## モジュールのトラブルシューティング

ここでは、モジュールに関する問題のトラブルシューティングについて取り上げます。

- モジュールをシャーシにホットインサートするときは、必ずモジュールの前面にあるイジェクトレバーを使用して、バックプレーンピンを正しく装着してください。イジェクトレバーを使用せずにモジュールをインサートすると、スーパーバイザ エンジンにモジュールに関する不正なメッセージが表示されることがあります。モジュールの設置手順については、『Catalyst 6500 Series Module Installation Guide』を参照してください。
- デュプレックスがエンドステーションまたは別のネットワークングデバイスに自動ネゴシエーションするよう設定されたインターフェイスを接続するときは、もう一方のデバイスでも自動ネゴシエーションが設定されていることを必ず確認してください。もう一方のデバイスに自動ネゴシエーションが設定されていない場合、自動ネゴシエーションするよう設定されたポートが半二重モードのままとなり、これによりデュプレックスの不一致が発生してパケット損失やレイトコリジョン、およびリンクでのラインエラーが発生する場合があります。

## その他のトラブルシューティング情報

その他のトラブルシューティング情報については、次の URL にある資料を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/switches/catalyst-6500-series-switches/tsd-products-support-troubleshoot-and-alerts.html>

## 注意事項

本ソフトウェア ライセンスに関連する通知内容を以下に示します。

### OpenSSL/Open SSL Project

本製品には、OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>) で使用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。

### License Issues

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).

#### OpenSSL License:

Copyright © 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”.
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:  
“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。本製品には、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって作成されたソフトウェアが含まれています。

**Original SSLeay License:**

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

“This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”.

The word ‘cryptographic’ can be left out if the routines from the library being used are not cryptography-related.

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed, i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

## 通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコ サービス](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコ サポート](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

## Cisco バグ検索ツール

[Cisco Bug Search Tool \(BST\)](#) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する [Cisco バグ追跡システム](#) へのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

このドキュメントは、『Catalyst 6500 Series Cisco IOS Software Configuration Guide』と併せて参照することをお勧めします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

©2023, Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。